



次世代の農業経営者を育てる

大分県指導農業士からの メッセージ

大分県指導農業士会・大分県
(令和6～7年度認定者)

目次

- 1 発行にあたって P 1
- 2 大分県指導農業士会 R6～R7年度認定者一覧 P 2～3
- 3 大分県指導農業士からのメッセージ
東部地区（別府市・杵築市・国東市・日出町） P 4～14
中部地区（大分市・臼杵市・由布市・津久見市） P 15～25
南部地区（佐伯市） P 26～32
豊肥地区（竹田市・豊後大野市） P 33～44
西部地区（日田市・九重町・玖珠町） P 45～56
北部地区（中津市・豊後高田市・宇佐市） P 57～71
- 4 大分県指導農業士制度について P 72
- 5 研修・受入学習等の意向 P 73～74
- 6 問い合わせ窓口一覧 P 75

大分県指導農業士からのメッセージ集の発行にあたって

日頃より、大分県指導農業士会の活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

大分県の指導農業士制度は、大分県が昭和52年2月に指導農業士活動実施要領を定め、同年10月に55名が認定されたことから始まり、昭和58年3月には「大分県指導農業士会」が結成されました。

大分県知事から令和6年8月に認定を受け、現在、県下68名の体制で活動しています。

この度、「大分県指導農業士からのメッセージ集」を更新・発行する運びとなりました。このメッセージ集は、会員紹介や取り組み等をまとめた資料です。

このメッセージ集を通じて、私たち指導農業士一人一人を身近に感じてもらえれば幸いです。

大分県指導農業士会は、今後も激しく変化する情勢に打ち勝つ担い手を育成するとともに、農業界に飛び込んでくる若者を増加させる環境作りに励んでいきます。また、これまでの活動を通じて築いてきた信頼と実績をさらに深め、指導者として常に学び続ける姿勢を忘れず、相互研鑽や自身の資質向上に努めて参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

大分県指導農業士会

会長 仲井貞一

令和6～7年度 大分県指導農業士会 会員名簿（名簿は各市町単位かつ五十音順の並びとしています）

| 地区 | 県No | 地域No | 市町村名 | 氏名 | 役職 | 品目・経営規模 |
|-----------|----------|------|-------|--------|-------|---------------------------------------|
| 東部 11名 | 1 | 1 | 別府市 | 星野 賢一 | | かぼす4ha |
| | 2 | 2 | 杵築市 | 宇留嶋 雄蔵 | 監事 | 水稲45ha、牧草15ha、アスパラガス20a、作業受託20ha |
| | 3 | 3 | 杵築市 | 河野 秀徳 | | いちご40a、水稲他3.3ha |
| | 4 | 4 | 杵築市 | 田畑 修一 | | 酪農（経産牛）50頭、和牛（母牛）20頭 |
| | 5 | 5 | 杵築市 | 長友 礼子 | | ハウスみかん40a、スナップエンドウ24a、なす10a |
| | 6 | 6 | 杵築市 | 野田 由紀 | | 葉たばこ4.5ha、水稲2.2ha |
| | 7 | 7 | 国東市 | 上原 隆生 | 副会長 | 水耕小ねぎ2ha、水耕レタス80a、トマト1ha |
| | 8 | 8 | 国東市 | 河野 一 | | 肥育牛1,200頭 |
| | 9 | 9 | 国東市 | 土谷 元尚 | | 小ねぎ63a |
| | 10 | 10 | 国東市 | 布袋 良信 | | 小ねぎ80a |
| | 11 | 11 | 日出町 | 片岡 和彦 | | 高糖度トマト13a、シャインマスカット20a、アスパラガス8a |
| 中部 11名 | 12 | 1 | 大分市 | 油井 克巳 | | いちご（ベリーツ含む）30a、ピーマン21a、直販野菜3ha |
| | 13 | 2 | 大分市 | 池永 勝己 | 顧問 | きゅうり50a、トマト25a、水稲9ha |
| | 14 | 3 | 大分市 | 甲斐 武範 | | 大葉155a |
| | 15 | 4 | 臼杵市 | 後藤 聖憲 | | カンショ1.1ha、水稲1.5ha |
| | 16 | 5 | 臼杵市 | 小橋 秀範 | | ピーマン30a、カンショ1ha、白ねぎ20a |
| | 17 | 6 | 臼杵市 | 竹尾 徳隆 | | いちご22a |
| | 18 | 7 | 由布市 | 江藤 国子 | | 水稲4ha、少量多品目野菜2.2ha |
| | 19 | 8 | 由布市 | 衛藤 将明 | 幹事 | アスパラガス24a、大豆90a |
| | 20 | 9 | 由布市 | 大津 敬美 | | いちご（ベリーツ含む）42a |
| | 21 | 10 | 由布市 | 工藤 貴幸 | | 肉用牛（繁殖）50頭、水稲2.3ha、WCS12ha |
| | 22 | 11 | 津久見市 | 中野 恭次 | | 柑橘220a |
| | 南部 7名 | 23 | 1 | 佐伯市 | 市川 幸子 | |
| 24 | | 2 | 佐伯市 | 黒岩 浩二 | | いちご34a、水稲170a |
| 25 | | 3 | 佐伯市 | 黒岩 真由美 | | トルコギキョウ45a |
| 26 | | 4 | 佐伯市 | 曾我部 勇太 | | ハウスみかん20a、かぼす120a、露地かんきつ60a |
| 27 | | 5 | 佐伯市 | 戸高 拓志 | | 輪キク140a、その他4品目50a |
| 28 | | 6 | 佐伯市 | 波戸崎 孝 | | ニラ22a、アスパラガス8a、スモークツリー7a |
| 29 | | 7 | 佐伯市 | 山田 定男 | 幹事 | アスパラガス10a、ニラ80a、水稲1ha |
| 豊肥 12名 | 30 | 1 | 竹田市 | 植木 美和 | 副会長 | 肉用牛（繁殖）100頭、WCS1.6ha |
| | 31 | 2 | 竹田市 | 大石 弥生 | 幹事 | トマト30a |
| | 32 | 3 | 竹田市 | 改木 謙士 | | 肉用牛（繁殖）23頭、水稲15ha、飼料作物1.8ha |
| | 33 | 4 | 竹田市 | 田平 真樹 | | トマト80a、飼料作物1.7ha、水稲30a |
| | 34 | 5 | 竹田市 | 入田 慎太郎 | | ピーマン35a、水稲120a、ニンニク20a、しいたけ（乾）30,000駒 |
| | 35 | 6 | 竹田市 | 渡邊 陽介 | | カボス87a、干し椎茸30,000駒、水稲73a |
| | 36 | 7 | 豊後大野市 | 麻生 竜誠 | | カンショ330a、ピーマン26a |
| | 37 | 8 | 豊後大野市 | 安藤 哲章 | | 水稲6ha、ピーマン13a 農事組合法人：水稲20ha、ライスセンター |
| | 38 | 9 | 豊後大野市 | 小野 直樹 | | 水稲10ha、林業（70ha） |
| | 39 | 10 | 豊後大野市 | 河野 邦友 | 会計 | 里芋40a 農事組合法人：水稲9ha、大豆6ha、麦8ha |
| | 40 | 11 | 豊後大野市 | 木本 恭輔 | | 夏秋ピーマン16a |
| | 41 | 12 | 豊後大野市 | 武藤 俊文 | | 肉用牛（繁殖）71頭、水稲14ha、稲WCS7.4ha |

令和6～7年度 大分県指導農業士会 会員名簿（名簿は各市町単位かつ五十音順の並びとしています）

| 地区 | 県No | 地域No | 市町村名 | 氏 名 | 役職 | 品目・経営規模 |
|-----------|-----|------|-------|--------|-----|----------------------------------|
| 西部 12名 | 42 | 1 | 日田市 | 河津 祐二 | | えのき80万袋/年、梅40a |
| | 43 | 2 | 日田市 | 高瀬 政寛 | | 梨84a、水稲0.92ha |
| | 44 | 3 | 日田市 | 平川 修 | | 肉用牛（繁殖）50頭、水稲0.6ha |
| | 45 | 4 | 日田市 | 森口 嗣男 | 監事 | 梨120a、水稲0.8ha |
| | 46 | 5 | 日田市 | 矢幡 万里子 | | ハーブ15a、水稲15a |
| | 47 | 6 | 九重町 | 浅岡 清一 | | 梨1.7ha、水稲1.2ha、りんご30a、自然薯10a |
| | 48 | 7 | 九重町 | 佐藤 秀一 | | トマト45a、水稲1.2ha |
| | 49 | 8 | 九重町 | 吉光 巧一 | | 白ねぎ3ha |
| | 50 | 9 | 玖珠町 | 神連 克之 | | ピーマン24a、白ねぎ15a |
| | 51 | 10 | 玖珠町 | 長尾 雪広 | | ピーマン7a、肉用牛10頭、水稲0.2ha |
| | 52 | 11 | 玖珠町 | 野村 幸弘 | | トマト35a |
| | 53 | 12 | 玖珠町 | 藤本 太一 | 幹事 | 乾しいたけ10万駒、ピーマン（露地）12a、水稲1ha |
| 北部 15名 | 54 | 1 | 中津市 | 飯嶋 誠利 | | ねぎ120a、ブロッコリー120a、小ねぎ64a、他野菜250a |
| | 55 | 2 | 中津市 | 小原 頼子 | | 柑橘・栗4.7ha・加工品 |
| | 56 | 3 | 中津市 | 川谷 哲也 | | 茶6.7ha、水稲7.5ha、 |
| | 57 | 4 | 中津市 | 高丸 博 | 幹事 | 梨30a、ぶどう30a |
| | 58 | 5 | 中津市 | 恒成 辰一郎 | | 主食用水稲7ha、SGS15ha、梨20a |
| | 59 | 6 | 中津市 | 中村 詔治 | | 個人：水稲、そば6ha 法人：水稲、そば8ha、作業受託5ha |
| | 60 | 7 | 豊後高田市 | 片桐 和彦 | | 肉用牛（肥育）800頭（和牛・交雑牛） |
| | 61 | 8 | 豊後高田市 | 清末 武尊 | | 水稲47ha、麦25ha、大豆3ha、小ねぎ70a |
| | 62 | 9 | 豊後高田市 | 田中 正志 | | 白ねぎ18ha |
| | 63 | 10 | 豊後高田市 | 仲井 貞一 | 会長 | 白ねぎ・野菜30ha |
| | 64 | 11 | 宇佐市 | 池田 雅彦 | 副会長 | 水稲・飼料用米25ha |
| | 65 | 12 | 宇佐市 | 岡崎 憲一郎 | | 飼料用米・大豆・水稲・麦15ha |
| | 66 | 13 | 宇佐市 | 小野 次信 | | ぶどう55a |
| | 67 | 14 | 宇佐市 | 菅原 維範 | | 水稲・麦・WCS・花き・じゃがいも130ha |
| | 68 | 15 | 宇佐市 | 長浜 美由紀 | 顧問 | 小ねぎ、米、麦等10ha |

大分県指導農業士会

vol.01
R6~R7認定

ほしの けんいち
星野 賢一 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------|
| ・営農地（市町村） | 別府市 |
| ・栽培品目（経営面積） | かぼす（400a） |
| ・従業員数 | 2名 |
| ・営農年数 | 17年（法人化 令和元年） |
| ・販路 | 商社、生協、メーカー等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業＝食という付加価値を生み出す製造業であることを意識する。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

もともと食品の企画・販売を行っていたが、原料生産から食品販売までを一貫して行いたいと思っていたところで、平成19年に近隣農家からかぼす園を引き継ぐことになった。その後は、少しずつ圃場を増やしていき、自社産原料の生産拡大を図ってきた。

現在では、生産量の拡大に加えて、搾汁加工や一次加工も行うことにより、青果のみならず果汁や果皮、その他加工品等を全国各地や海外に向けてお届けしている。

現在行っている農業経営の特徴

搾汁等の一次加工を導入し、年間を通じた収入を得ることになった。

また、全国に販売できるよう、HACCPの考え方を取り入れた製造を行い、大手飲料メーカーとも取引を行っている。

私が応援できること

心を込めて作った農産物を、多くの人に喜んでもらえるように付加価値をつけて販売する方法をいっしょに考えましょう。

大分県指導農業士会

vol.02
R6~R7認定

うるしま ゆうぞう
宇留嶋 雄蔵 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|--|
| ・ 営農地（市町村） | 杵築市 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 水稲（45ha）、牧草（15ha） アスパラガス（20a） 作業受託（20ha） |
| ・ 従業員数 | 役員4名、従業員1名 |
| ・ 営農年数 | 41年 |
| ・ 販路 | J A 共販、直販、商社 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業はただやるだけでは大変ですが、知恵を出してがんばれば、面白いです。ぜひ、儲かる農業をめざしてがんばってください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農のきっかけは親がしていたから。でも、今の農業、作ったら売れるわけではありません。作る作物を決めたら、まず販路をきちんと考えることから始めましょう。私は幸い、旅館の社長やシェフ、流通業界に携わる人など以前からの友人を多く持っており、それが今の販路拡大に大きく役立っています。

中山間で条件が悪いところながら、平成31年には（株）URUSHIMA 企画を設立、農業法人としての経営をスタートしました。もちろん、地域とのつながりも大切。ヒマワリを植えたり御神輿等の地域行事にも参加しながら農業をしています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・（株）URUSHIMA 企画⇒農業＋林業
個人⇒不動産業
- ・ 農業経営の主力は水稲、売れ筋品種を考えながら5品種栽培
- ・ 売り先はJ A や商社など、会社のブランド袋を作る等して売り先との信頼関係を築く
- ・ 息子も一緒に農業に携わっている

私が応援できること

基本は親元就農が理想です。あるものを大きく拡大することを考えるのがベストであり近道だと思います。

もちろん、新規就農であっても地域でできるやり方はあります。がんばっている先輩もたくさんいます。いっしょに考えましょう。

大分県指導農業士会

vol.03
R6~R7認定

この ひでのり
河野 秀徳 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------------------|
| ・営農地（市町村） | 杵築市 |
| ・栽培品目（経営面積） | いちごベンチ栽培（40a） 水稲他（330a） |
| ・従業員数 | 6名（パート含む） |
| ・営農年数 | 37年 |
| ・販路 | J A 出荷 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業経営は短期・中期・長期の計画を立て着実に実行する事が重要です。また仲間を多く作る事で楽しい農業ができます。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

山香農業高校、大分短期大学卒業後、地元杵築市の農協に入組しました。営農指導員として農協で働きながら、兼業農家として、父・母・妻と共に35年間いちご40a（土耕）、水稲300a、茶100aの栽培をしてきました。

私が父を手伝い始めた当時、いちごは土耕栽培で、収穫作業や管理作業が中腰で重労働でしたが、平成10年にベンチ栽培・自動給液を導入して省力化栽培に取り組みました。35歳の時に父から経営を継承し、55歳で農協を早期退職して、現在は妻、両親、息子の妻、研修生2名、パート2名で、いちご40a（さがほのか24a・ベリーツ16a）、水稲280a、茶50a、ほおずき3aを栽培しています。

現在行っている農業経営の特徴

現在J Aの「杵築いちご研究会」に所属して園回りや販売会議などで活動し、販売は農協共販で出荷しています。

また、省力化のために、モニタリング装置、簡素規格などの導入や、J Aのパッケージセンターを一部利用しています。

私が応援できること

J Aでの営農指導員と、自営のいちご栽培で得た経験・知識・技術をお伝えします。

また、いちご研究会員・農協指導員・振興局・市農林課の皆さんと連携して経営支援していきます。

大分県指導農業士会

vol.04
R6~R7認定

たばた しゅういち
田畑 修一 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| ・ 営農地 (市町村) | 杵築市 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 酪農 (経産牛50頭) 和牛 (母牛20頭) |
| ・ 営農年数 | 22年 |
| ・ 販路 | 大分県酪、全農 |

農業を志す担い手へのメッセージ

向き不向きより前向きに。とりあえずやってみよう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

父の代より酪農を始め、物心ついた頃より将来は酪農家になると決めていた。山香農業高校、筑波大学へ進学し、卒業後すぐに就農した。就農後は自分の無知さを思い知らされることが多く、楽しいとは思えなかった。しかし、8年目頃から自分のしたことがそのまま返ってくることがわかり、徐々に楽しさが増えた。

消費者の酪農体験の受入れは自分から始めた。牧場をフィールドワークの場として提供し学んでもらう。「牛って温かいんだ」等の感想は嬉しく、ずっと続けていきたい。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 耕畜連携によるWCSの収穫、調整、堆肥の投入
- ・ 粗飼料自給率ほぼ100%
- ・ 雌雄判別精液の活用
- ・ 自家和牛における採卵及び移植
- ・ 酪農教育ファーム認証牧場を活かした教育ファーム活動
- ・ 消費者受入れによる食育活動

私が応援できること

世界、国内の情勢が厳しい中で、何が出来るのか？どうしたら良いのか？
こういう時こそコミュニケーション！
そして、学びです！
夢を語りましょう！皆さんの力になれるように、私も頑張って行きます！！

大分県指導農業士会

vol.05
R6~R7認定

ながとも れいこ
長友 礼子 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|---|
| ・ 営農地（市町村） | 杵築市 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | ハウスみかん（40a） スナップエンドウ（24a） なす（10a） |
| ・ 従業員数 | 4名 |
| ・ 営農年数 | 30年 |
| ・ 販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

これからは、ますます農業が必要になります。今がチャンスです！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

ハウスみかん栽培と漁師をしていた夫と結婚し、自分は会社勤めをしながら、休日にハウスみかんの作業を手伝っていました。

平成10年に、リースハウスに定植していたハウスミカンの木が成熟し、収穫が始まるタイミングで、夫と一緒に農業をすることを決意。また、ハウスみかんのみでは収入時期が限られるため、近隣の空きハウスを積極的に活用し、スナップエンドウ、ナスの規模拡大をしてきました。

専業農家になったことで、家族とのコミュニケーションが増え、充実した毎日になりました。これからも積極的に規模拡大を行い、夫・子供とともに大分県・杵築市を農業で活性化していきたいです。

現在行っている農業経営の特徴

冬春はスナップエンドウ、夏はハウスみかん、夏秋はナスを栽培し、周年収入を得られるように努めています。

そのために、年間雇用と労働時間の分散を行い、ムダを省いたスマートな農業経営をしています。

私が応援できること

夢のある楽しい農業をしていくためには、どうしたらよいかを、自分の経験から相談にのれたらと思います。

大分県指導農業士会

vol.06
R6~R7認定

の だ ゆ き
野田 由紀 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------------|
| ・営農地（市町村） | 杵築市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 葉たばこ（450a）、水稲（220a） |
| ・従業員数 | 臨時雇用15名 |
| ・営農年数 | 34年 |
| ・販路 | J T出荷等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分だけが苦勞してる時もあるかもしれないけど、いつかはなんらかの形で実ることを信じて努力して欲しい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

結婚した人が農家の長男だったから農業をする事に。初めは、子育ての合間にできる範囲で。子供が小学生になってから言われた仕事をするようになり、葉たばこ150a、水稲100aぐらい。子供から手が離れると私も戦力になったのか、葉たばこ350a、水稲130aに増反。子供が成長し、後継者になった時に最大面積の葉たばこ700a、水稲260aに。親が農業できなくなった時から今の面積の葉たばこ450a、水稲220aで、数年落ち着いています。

現在行っている農業経営の特徴

条件のよいほ場を探して、豊後高田市呉崎の干拓地に葉たばこのほ場があります。近くに乾燥調整施設もあります。J Tとの契約栽培です。

家族で気をつけている事は、農作物に病気を出さないこと。葉たばこは使う農薬に限られるからこそ、病気を出さない環境づくりに力を入れています。

私が応援できること

私は非農家で育ち、農業の事は何も知りませんでした。

自分だけが苦勞してる時もあるかもしれないけど、努力したらいつかはなんらかの形で実ることを信じて 大分県の農業に貢献できるように努力して欲しいです。

話を聞くことだったらできます。

大分県指導農業士会

vol.07
R6~R7認定

うえはら たかお
上原 隆生 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|---|
| ・ 営農地 (市町村) | 国東市、由布市、三重町 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 水耕小ねぎ (200a) 水耕レタス (80a) トマト (100a) |
| ・ 従業員数 | 60名 (パート含む) |
| ・ 営農年数 | 43年 (法人化 平成19年) |
| ・ 販路 | 量販店、飲食店、加工業者 等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業経営者として「自分で時間を作ること」を意識する！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

ハウスみかん栽培を営んでいた父親の背中を見て農業を志した。かつてハウスみかんに取り組んでいたが、ある時期に『「雇用型農業」がしたい、その為には「周年栽培」が可能な品目に取り組む必要がある』と考えるようになった。

周年栽培ができる品目として水耕こねぎに着目、平成16年に挾間町の水耕こねぎ農家を視察、平成17年に20aで水耕こねぎ栽培を開始した。平成19年法人化、平成23年国庫事業採択、関連会社の設立等により徐々に経営規模拡大を実施し、現在の経営に至る。

現在行っている農業経営の特徴

「播種から販売・流通まで」の一連の流れを確立することで、『ビジネスとしての農業』を実現している。

農業も会社経営である以上、

「①商売人になること」

「②人を育てること」...

を意識し、次代にも継承可能な農業経営を行っている。

私が応援できること

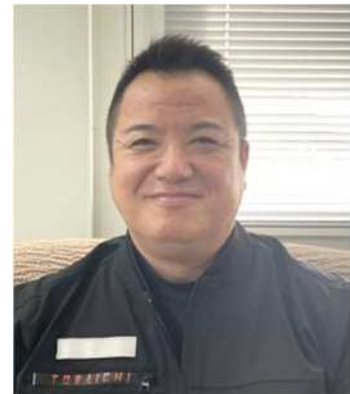
「企業的経営ノウハウ」に関するアドバイスをすることができる。

例えば、異業種との交流、販路開拓、農業経営の法人化、借入等資金の調達方法等、様々な分野における話ができるので、気軽に相談してほしい。

大分県指導農業士会

vol.08
R6~R7認定

この はじめ
河野 一 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|-----------------|
| ・ 営農地（市町村） | 国東市 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 肥育牛（1,200頭） |
| ・ 従業員数 | 役員2名、社員7名、パート2名 |
| ・ 営農年数 | 28年 |
| ・ 販路 | 肥育牛受託業務 |

農業を志す担い手へのメッセージ

もうかる経営を目指して、頑張ってください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

親が畜産農家だったが、元々は家業を継ぐつもりは全くなく、高校卒業後、飲食業に就職した。しかし、畜産農家でもうけたお金で育ててもらった恩を感じ、平成9年に親元に帰り家業を継ぐことを決意。

就農当時は200~300頭を肥育していたが、大規模経営体からの声かけがあり、肥育牛の受託業務がスタート。1,000頭以上を保有するまでに規模を拡大していき、平成21年に父から自分に役員交代した。

しかし、2年後に、父が他界、預託元の大規模経営体の倒産があり、非常に苦しい状況にあった。同じく受託業務を行っていた地域の畜産農家の代表となって、様々な外部機関に働きかけを行い、新たな預託元を確保。

現在では、1,200頭の肥育牛の受託業務を行っている。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 肥育牛の委託業務専門
- ・ 耕種農家と耕畜連携
- ・ 大分県産粗飼料の確保
- ・ 全頭雌牛を肥育

私が応援できること

1,200頭の肥育を行っているため、まとまった量の堆肥を提供できます。

経営・技術の相談受け付けます。

大分県指導農業士会



つちやもとひさ
土谷 元尚 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|-----------|
| ・ 営農地 (市町村) | 国東市 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 小ねぎ (63a) |
| ・ 営農年数 | 7年 |
| ・ 販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業経営は大変ですが、自分の目指す姿に向かって、がんばって下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

国東市内の農業法人にて、10年程、こねぎの栽培担当として務めていたが、一身上の都合で退社することに。

退社することを報告した先輩小ねぎ農家から息子さんのハウスを引き継ぐ事を提案され、入植する事を決意。

独立して農業をするのは大変ですが、一歩ずつ前に進めるように努力している毎日です。

現在行っている農業経営の特徴

63aのハウスで土耕小ねぎの栽培をして、J Aへ「味一ねぎ」として出荷しています。

出荷物のほぼ全量をJ Aの共同選果場を利用して調製しているので少ない労力で調製作業ができています。

私が応援できること

十分な答えは出せないかもしれませんが、相談事は聞く事ができます。

大分県指導農業士会

vol.10
R6~R7認定

ほうたい よしのぶ
布袋 良信 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------|
| ・営農地（市町村） | 国東市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 小ねぎ（80a） |
| ・従業員数 | パート12名 |
| ・営農年数 | 18年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

なぜ、農業を始めようと思いついたのか？ その志向の原点を大切に貫徹しよう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

25年間、都市で取引関係の会社を経営していたが、50歳を間近に地方での「晴耕雨読」の田園生活を思い描いていた。各地を打診する中で、就農への対応が懇切だった大分県に焦点を絞り、奨励品目の「小ねぎ栽培」専業農家として出発することになった。

最初は慣れない仕事で何かと戸惑いや苦労もあったが、県やJA等の関係機関の指導・支援のおかげで数年内にどうにか経営を安定させることができた。今は、より進歩的な生産性の向上と生活の豊かさを求めて日々、努力を重ねている。

現在行っている農業経営の特徴

大分県一ねぎ生産部会に所属し、土地及び労働生産力を高め、単収、秀品率の向上を念頭に心豊かな農業経営を目標に。

仕事の合間に趣味の乗馬や旅行を楽しみ、パートさんと花見や忘年会を実施。数年おきに海外旅行も行って、わが農園の更なる目標である「楽しみのある農業」「夢のある農業」を実践。

私が応援できること

これからの大分県農業を担う青年に微力ながら夢を発信し続けたい。思うに農業は、よしんば苦労の多い道であっても、かなり自由に働けて、限りない可能性がある。

その為に、青年の持てる力を思う存分に発揮して、その輝く未来を鋭意、実現してもらいたい。

大分県指導農業士会

vol.11
R6~R7認定

かたおか かずひこ
片岡 和彦 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|---|
| ・ 営農地（市町村） | 日出町 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 高糖度トマト（13a）、 シャインマスカット（20a）、 アスパラガス（8a） |
| ・ 従業員数 | パート・アルバイト3名 |
| ・ 営農年数 | 11年 |
| ・ 販路 | J A、スーパー、デパート、直売所 |

農業を志す担い手へのメッセージ

“やる気”と“向上心”をもち、毎日コツコツと！結果は後からついてきます。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

大学卒業後、不動産会社に就職。40歳を過ぎて、庭先で作った野菜から“モノづくり”への興味をもち、農業への転職を希望する。新規就農説明会を受けて、農家での研修を受けずに右往左往しながら就農。先人たちの経験・知恵をかりて、現在に至る。

また、多品目経営（高糖度トマト、シャインマスカット、アスパラガス）を行い、周年出荷ができるようにしている。

現在行っている農業経営の特徴

ビニールハウスに海水を投入し、塩分によるストレスを与える高糖度トマト土耕栽培をしている。

現在では、日出町産高糖度トマト（潮トマト）は県外の市場関係者からも高評価をいただいている。

私が応援できること

失敗談は多々あります。いつでも相談受け付けます。
“やる気”のある方、応援します。

大分県指導農業士会

vol.12
R6~R7認定

あぶらい かつみ
油井 克巳 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 大分市 |
| ・栽培品目（経営面積） | いちご（30a）、ピーマン（21a） 直販野菜（3ha） |
| ・従業員数 | パート2名 |
| ・営農年数 | 15年（53歳で就農、現在68歳） |
| ・販路 | いちご、ピーマンはJ A、 その他は直売所 |

農業を志す担い手へのメッセージ

まずは色々とチャレンジをしてほしい！新たなことに挑戦して、継続してやっていけば必ずその先が見えてきます！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

16歳の時から会社勤めをしていました。43歳の頃、奥さんがメインでいちごの栽培を始め、会社勤めをする傍ら、いちごの栽培も行うようになりました。53歳の頃、地元でリース団地の話が持ち上がったことをきっかけに、早期退職して本格的にいちご栽培を開始。

現在、いちごはベリーツ（20a）、さがほのか（10a）の2品種を栽培しています。また、直売所向け野菜として、きゅうり、ブロッコリー、ねぎ等も栽培しており、調製作業では、障がい者を受け入れ、農福連携に取り組んでいます。

今後は外国人技能実習生の受け入れも考えています。また、いちごジャムやきゅうりの漬物など、加工品の取り組みも視野に入れており、これからもいろいろなことにチャレンジしていく予定です。

現在行っている農業経営の特徴

これまではいちごをメイン品目にして経営を行っていましたが、新たな取組として数年前、J Aのピーマン部会にも入会しました。

夏はピーマン、冬はいちごの2品目をメイン品目とし、また、直売所向け野菜（きゅうり、ブロッコリー、ねぎ等）を併せて栽培することで、リスク分散をし、周年で収入を上げられるよう、工夫しています。

私が応援できること

会社勤めを辞めて就農し、今年で15年目になります。技術的にはまだまだですが、地元や近所の方々と信頼関係を築きながら、これまで経営を続けてきました。

新しく入ってくる新規就農者は、特に土地探し等で苦労します。地元生産者の強みを活かして、土地に関する情報提供等できたらと考えています。

大分県指導農業士会

vol.13

R6~R7認定

いけなが かつみ
池永 勝己 さん

(経営概況)

- ・ 営農地（市町村） 大分市高田
- ・ 栽培品目（経営面積） 水稲（9ha）、ハウスきゅうり（50a）、
トマト（中玉・ミニ）（25a）
- ・ 従業員数 パート含め10名
- ・ 営農年数 40年
- ・ 販路 JAおおいた直販（きゅうり、トマト、
もち米、水稲）
JAおおいた 水稲（たちはるか）



農業を志す担い手へのメッセージ

社会全体が厳しい状況にありますが、様々な補助金や資金等もあり、農業を志し、経営者になるには今がチャンスです。
若手で農業を志す方を待っています！！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

普通科高校を卒業後、東京の農業者大学校（全寮制）に入学。学生時代を振り返ると、愛知県M式水耕研究所に勉強に行く等、大分市内のみつば農家を目指した時期もありました。また、千葉県の有機農家で葉物類の栽培技術を学び、卒業後、夏場に小松菜、江戸川ベカ菜を大分市で初めて栽培したこともありました。

大学校卒業後は、農業法人等で働くことは考えず、ためらうことなく、親元就農。当時大分市の高田地区は、果菜類から水耕みつば、大葉、にらへの転換期でしたが、大分県の園芸（施設）発祥の地を守り育てるには、先代から栽培してきた土耕でのきゅうり、トマトを、引き続き栽培していくことが重要と考え、これまで栽培を行ってきました。

現在では、高田地区を表現する「輪中」を法人名に掲げ、「輪中の郷」ブランドで産直中心の経営を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 地域の畜産農家から堆肥を購入し、資源循環する土耕栽培にこだわっています
- ・ 地元高田地区の別名「輪中」のブランド名で、きゅうり、トマトを直販中心に周年出荷しています
- ・ 水田の管理を通して、浸水被害緩和、景観の保全を行い、地元貢献しています
- ・ 地元小学生に対して、稲作りの体験学習も行っています

私が応援できること

先代から長年栽培を続けてきたきゅうり、トマトの土耕栽培、そして、経営に関してアドバイスが可能です。

大分県指導農業士会

vol.14
R6~R7認定

かい たけのり
甲斐 武範 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・営農地（市町村） | 大分市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 大葉（155a） |
| ・従業員数 | 25名 |
| | ※パート、外国人技能実習生含む |
| ・営農年数 | 28年 |
| ・販路 | 大葉→J A、柑橘類→市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

まずは友達をたくさん作って、気軽に相談できる仲間づくりをしてほしいと思います。また、持続可能な農業をめざしてほしいと思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

元々父の代はみかん農家をしていました。父が病気になったのをきっかけに、仕事を退職し、就農。就農3年目（平成8年）から大葉の栽培を始めました。

平成22年にJGAP、平成25年にはグローバルGAPを取得し、安心・安全な大葉の生産に取り組んでいます。当時、グローバルGAPは英語の基準書しかなかったため、取得の際は非常に苦労した思い出があります。

令和4年からはJAおおいた大葉部会の部会長も務めています。

今後の取り組みとしては、大葉の調製作業の効率化に向け、調製機械の導入を検討しているところです。

現在行っている農業経営の特徴

収穫、調製作業については分業制を取り入れているのが特徴です。分業制にすることで、それぞれの作業を効率よく、専門的に行えるというメリットがあります。

また、収穫作業では、それぞれの列ごとに収穫する人を定めており、勤務時間を自由に決められるフレックスタイム制を取り入れています。

私が応援できること

生産・販売をしていく上で、マーケットニーズをしっかりと掴むこと、そして取引先と信頼関係を築くことが非常に重要です。

また、日本は食料輸入国のため、世界の農産物の情勢をチェックすることも重要です。

大分県指導農業士会

vol.15
R6~R7認定

ごとう きよのり
後藤 聖憲 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------------------|
| ・営農地（市町村） | 臼杵市野津町 |
| ・栽培品目（経営面積） | かんしょ(1.1ha)、水稻(1.5ha) |
| ・営農年数 | 15年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

単独行動ではなく、グループ（仲間）活動を積極的に行い、常に基本に忠実に、そして、チャレンジ精神で頑張れば、明るい将来が期待できると思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私は全農で主として園芸の販売部門に所属していました。現在、「甘太くん」は県内をはじめ全国的でも知名度や人気が高くなっていますが、販売開始当時は知名度向上のためスーパーや量販店で試食会やイベントを多く開催しました。

退職後、次は生産にチャレンジしようと考え「甘太くん」を生産し、15年以上経過しました。農業は自然、気象との闘いでもあり、絵に描いた餅のようにはいきません。今、農作業をするときは常に原点に戻り、また、消費者の笑顔を思い浮かべながら日々励んでいます。

現在行っている農業経営の特徴

かんしょは、適期の植付と収穫作業を心がけ、減農薬にも取り組んでいます。常に野津町の平均収量を上回るよう創意工夫をしています。

水稻については、10年前の基盤整備で農作業道が整備され、水田1枚も20~30aとなり作業効率が向上しました。作業時間の短縮を試みながら、肥料の均一散布などにより、令和6年産は夏の高温下でも8俵/10a収穫することができました。

私が応援できること

県の「甘太くん」部会長を6年間、野津かんしょ生産部会長を12年間務め、現在は臼杵市農業委員を務めており、この間、県、市、JA、市場関係者など多くの方とやりとりした経験があり、知り合いが多くいます。

また、「甘太くん栽培マニュアル」も作成した経験があり、とくに新規就農者など若い生産者に好評です。

大分県指導農業士会

vol.16
R6~R7認定

こばし ひでのり
小橋 秀範 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| ・営農地(市町村) | 臼杵市野津町 |
| ・栽培品目(経営面積) | ピーマン(30a)、かんしょ(1ha) 白ねぎ(20a) |
| ・従業員数 | 本人、妻、両親の家族経営 |
| ・営農年数 | 12年 |
| ・販路 | JA |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は一生の仕事と思うことが大事です。目標をしっかりと立て、取り組みましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

平成22年に親元就農し、平成24年よりピーマン、かんしょの栽培をはじめました。

現在、野津町ピーマン生産部会の部会長として、ピーマン産地拡大のため、若手生産者を育成するとともに、仲間として野津町の農業を守っていきたいと思っています。

現在行っている農業経営の特徴

ピーマン栽培を軸として、年間通して所得のある農業に取り組み、新規就農者の受け入れや相談等も行っています。

私が応援できること

やる気のある若手生産者の力になれます。

大分県指導農業士会

vol.17
R6~R7認定

たけお のりたか
竹尾 徳隆 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------|
| ・営農地（市町村） | 臼杵市野津町 |
| ・栽培品目（経営面積） | イチゴ（22a） |
| ・従業員数 | 3～5名 |
| ・営農年数 | 32年 |
| ・販路 | J Aなど |

農業を志す担い手へのメッセージ

経営を安定させるために、生産性を意識して、様々なコミュニティーを利用しながら、ワークライフバランスを大切にしてほしい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

親が営農していたため、実家の葉たばこ栽培に取り組んだ。約20年間従事したが、廃作奨励金を契機にイチゴ栽培に切り替えた。それからは、経営重視のやり方にしている。環境の変化が激しい今、品種を変えて取り組んでいるが、栽培しやすい品種ではないので、もう一步踏み込んでやっていかなければならなくなっている。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ワークライフバランスを重視して、しっかり休みを取れるようにしている。
- ・生産性を意識して、目標を立て、そこから逆算して労働計画と年間計画を明確にしている。

私が応援できること

- ・近隣の小学校の農業体験を提供すること。
- ・取り組みの姿勢がわたしの考え方と似ていれば、やり方を教えること。また、その場を提供すること。

大分県指導農業士会

vol.18
R6~R7認定

えとう くにこ
江藤 国子 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 由布市湯布院町
- ・栽培品目（経営面積） 水稻（4ha）、トマト、なす等の少量多品目栽培（2.2ha）
- ・従業員数 常時雇用（2名）、不定期雇用（4名）
- ・営農年数 江藤農園は代々続いているが、私自身は17年くらい
- ・販路 町内の旅館、イオン、マックスバリュ、フードウェイなど

農業を志す担い手へのメッセージ

楽しいけど、精神力と体力を常に試されます。農業は“コツコツと”が重要です。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

公務員をしていましたが、どうしても農家になりたくて、17年前に農家の嫁に転職しました。もともと旅館へ野菜を販売している農家でしたが、

人手が足りていない状況だったため、すぐに青色申告を任せられ、経営状況をすべて把握。規模拡大したり、販路開拓したりと、失敗することもありますがとてもやりがいを感じます。

今、夢中になっているのは耕作放棄地の解消ですが、空き家問題、小学校の存続、鳥獣被害など、いろいろな問題にぶち当たり、リアル“あつまれどうぶつの森”にはまっています。

現在行っている農業経営の特徴

湯布院町内の旅館を主に、米や野菜を販売しています。

また、「ゆふいんマルシェ」というグループをつくり、イオン（湯布院店、挟間店、光吉店）やマックスバリュ（別府店、別府上原店）、フードウェイ（大分駅南店）にも出荷しています。

私が応援できること

農家の嫁として、そつなく生きていく術を教えてあげたいけど、まだまだ試行錯誤中なので、悩みがあったら聞いてあげることぐらいかな。あと、販路を開拓するのも得意かな。

見かけたら気軽に声を掛けてください！

大分県指導農業士会

vol.19
R6~R7認定

えとう まさあき
衛藤 将明 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 由布市湯布院町
- ・栽培品目（経営面積） アスパラガス（24a）、大豆（90a）
- ・従業員数 本人と妻の家族経営
- ・営農年数 12年
- ・販路 旅館やレストランへの直販、JA

農業を志す担い手へのメッセージ

それぞれの価値観や特性、能力を活かし、農業を通じて人生を豊かにしましょう！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

平成元年生まれ、普通科高校を卒業して一般企業に就職。

実家の農地を管理していた祖母が体調を崩した事や、仕事に対する考え方の変化で農業を仕事にしようと決意し就農（23歳）。

有機露地多品目野菜30aと水稻を1ha程。7、8年やっていたが、持続的に経営できる内容ではなかったため現在のメイン品目のアスパラガスへ転換した。

現在行っている農業経営の特徴

湯布院町は年間300万人を超える人が訪れる観光の町。地場農産物への需要も大きい。

安定的に長期間出荷できるアスパラガスはその需要をしっかりと受けとめる事ができた。

直販は約6割。直販分を欠品させないためとリスク回避（観光業の需要減）のために産直コーナーへの出荷やJA出荷も組み合わせている。

私が応援できること

大分県農業青年連絡協議会にも所属しており、30代前後の同世代の人脈もあります。

いつでもなんでもご相談ください。

次世代の大分県農業を共により良いものにしていきましょう。

大分県指導農業士会

vol.20
R6~R7認定

おおつ あつみ
大津 敬美 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・営農地（市町村） | 由布市挾間町 |
| ・栽培品目（経営面積） | いちご（42a） |
| ・従業員数 | 7名（本人、夫、義母、パート4名） |
| ・営農年数 | 13年 |
| ・販路 | J A出荷 |

農業を志す担い手へのメッセージ

チャレンジ！大分で一緒に農業を頑張りましょう！！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

いちご農家の主人と結婚。長女の育児中、働きに行くより農家を手伝った方がいいのではないかと考え、就農。最初は、パック詰めフィルム張りから始め、少しずつハウスでの作業も行うようになりました。義父の病気により、主人に経営移譲してから、パートを雇用するようになり、経理や労務などの事務処理を任されるようにもなりました。

家族労働から雇用型に切り替えることで、規模拡大も可能になり、令和2年度には27aから42aに規模拡大しました。

現在行っている農業経営の特徴

主な経営、運営は主人が行い、私はサポートをしています。

サポート役ですが、主人は相談してくれるので、ほとんどのことは2人で決めています。

私が応援できること

技術的な面はまだまだ勉強中ですが、困ったことがあったらお話を聞くことはできます。

誰かに話すことで、心配が少なくなったり、もしかしたら解決できるかもしれません。

一人で悩まないようにしましょう！

大分県指導農業士会

vol.21

R6~R7認定

くどう きみゆき
工藤 貴幸 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ・営農地(市町村) | 由布市庄内町 |
| ・栽培品目(経営面積) | 繁殖牛(50頭)、 水稲(2.3ha)、WCS(12ha) |
| ・従業員数 | 3名(本人、妻、母親) |
| ・営農年数 | 31年 |
| ・販路 | 子牛は全農市場、米は全て直販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は持続可能な成長産業です。子供たちがやりたがるような経営をしましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校卒業後、諸事情により進学せずにオーストラリアに留学（仕事もしましたが、遊びました）。その後、オーダーメイドの家具製作をしていましたが安い家具におされ、先が見通せないと思い親元就農。当時はシイタケ生産が柱の経営で、母牛はわずか3頭でした。草地改良事業を機に畜産に切り替え、同時に水田面積を拡張し、現在は当時の10倍まで増やしています。

現在行っている農業経営の特徴

繁殖牛生産は、景気や世界情勢等自身ではどうしようもない事柄に翻弄されることが多々ありますが、粗飼料生産を自分で行い補助金を活用することで、安定経営ができるよう努めています。

私が応援できること

野菜生産をされている方が多いので、畜産に興味のある方は色々とアドバイス出来る事があると思います。また、ドローンに興味がある方にも教えられる事がありそうです。

大分県指導農業士会

vol.22
R6~R7認定

なかの きょうじ
中野 恭次 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------|
| ・営農地(市町村) | 津久見市 |
| ・栽培品目(経営面積) | 柑橘(220a) |
| ・営農年数 | 40年 |
| ・販路 | JA |

農業を志す担い手へのメッセージ

地域との共生や趣味などバランスを取って成りたい自分に成ること。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私は農業と言うよりも、人生一回なら百の名を持つ百姓に憧れ、色々な体験をしたいと考えていました。

親の病気を機に会社を退職し、就農しました。

苗木生産や4haでハウスカボス他25種ほどあったが、農家の減少とともに苗木をやめ、ハウスミカンを作り、毎月収入のある周年経営をしました。

父が働けなくなると、産地力の維持のためカボス、サンクイーンの特産品を主に他6種の露地栽培に変えました。

現在行っている農業経営の特徴

- ・カボス、サンクイーンを主にした特産品栽培
- ・おおいた早生、サンセレブのマルチ栽培
- ・企業と提携したザボン栽培
- ・自家製簡易ぼかし肥料による経費削減、品質向上

私が応援できること

現状に応じた柑橘栽培の肥料農薬の使い方や気象による栽培計画の見直し、ワークライフバランスなどにはアドバイスできると思います。

大分県指導農業士会

vol.23

R6~R7認定

いちかわ さちこ
市川 幸子 さん

(経営概況)

- ・営農地(市町村) 佐伯市
- ・栽培品目(経営面積) スイートピー(75a)
ホオズキ(57a)
杉苗(50,000本)
- ・従業員数 2名
- ・営農年数 45年
- ・販路 個人出荷、関東方面



農業を志す担い手へのメッセージ

初期経費は少なく、品質の良いものを作り、軌道に乗るまでは寝る間もなくがんばってほしい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

しいたけ栽培をしていましたが、輸入品が増えて価格が低下してきたので、何か良いものはないかとかすみ草、センリョウ、スターチス、トルコギキョウと試行錯誤の繰り返しでした。近所でホオズキを栽培していたのでホオズキを栽培、それまで短いホオズキでしたが、1年目で良い品物ができました。ある日、日南に研修に行ったとき、ハウスイ面に咲いていたスイートピーを見た瞬間恋をしてしまいました。大分県には指導者もなく、周りからは反対されましたが、大分県最初のスイートピー農家としてスタートしました。

いきづまった時は、日南まで5、6時間かけて行き、試行錯誤を繰り返しました。自分の作った品物は自分で売りたいと思い、平成10年に農協から独立しました。販路も少なく大変でした。良い品物、どこの産地にもまけない品物をと頑張ってきました。ホオズキは相対取引、スイートピーは、宇目に『ととろ』という地名があり、それにちなんでトトロシリーズとして関東中心に出荷、輸出は、韓国、オランダ、フランスなどにしています。

現在行っている農業経営の特徴

常に良い品質を作るように買い手の欲しがる品質を。ホオズキは毎年種を選抜して苗を作る。手を抜かない、毎年初心に戻る。

雇用、感謝の気持ち。雇用がないと絶対できないので、楽しく働けるよう環境作り。

私が応援できること

農業はやり方次第では儲かりません。軌道に乗るまでは頑張ってもらいたい。きっと楽しい農業が待っています。

夢も希望もあると思いますが、私で役に立つことがあればいつでも応援します。

頑張ってください。

大分県指導農業士会

vol.24
R6~R7認定

くろいわ こうじ
黒岩 浩二 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・栽培品目（経営面積） | いちご(34a)、水稲(170a) |
| ・従業員数 | パート2名 |
| ・営農年数 | 42年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

楽しい農業するには、1つ1つコツコツと積み上げていくことが大切だと思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

親の代から農業を営んでいて、その経営を継ぐことになり42年弱です。

当初は椎茸・米・いちごの3品目で、椎茸が主でしたが、今では苺の高設栽培を主体とした経営を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

より良いものをたくさん作ることを目標にし、県・JAの指導のもとに、周りの農家との情報を収集し、自分の経営に生かしている。

私が応援できること

今までに、いろんな失敗をしてきましたので、その経験を伝えること。

大分県指導農業士会

vol.25
R6~R7認定

くろいわ まゆみ
黒岩 真由美さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------|
| ・営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・栽培品目（経営面積） | トルコギキョウ（45a） |
| ・従業員数 | 夫婦、繁忙期2人 |
| ・営農年数 | 32年 |
| ・販路 | JA共販（大阪、東京） |

農業を志す担い手へのメッセージ

不安だけが渦巻く日もあるでしょう。だけど大丈夫！感性と情報のセンサーをピカピカに磨いて勇気をもって前をむいて歩いてゆきましょう。そんなあなたの姿は、とても美しいはず！地の底から這い上がるようにあたしたちはやってきたよ。困ったときは、いつでもおいで！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

留夫君の夢だった「鉄骨ハウスで花を作る！」に、背中を押されて就農しました。けれど、バラ栽培は平成14年に頓挫してしまいました。それからは、地の底を這いずり回るように試行錯誤の繰返しでした。そんな中で知り合いの方々からの援助は私たちを強くしてくれました。

JA、振興局、市役所の情報はとても大切でした。トルコギキョウに転換してから、現在に至るまで紆余曲折あったものの、経営は続けられています。芯がぶれなかった賜かな。夫婦二人いたからだよね。夢を追うことは甘くない！けれど夢があるから頑張れる！

現在行っている農業経営の特徴

- ・品種選定は経営が成り立つように決める。
- ・土壌消毒はキチンと！畝の隅々までキチンとする。
- ・花と会話。土の組織を想像する。
- ・振興局と決算の数字を見ながら経営する。花1本育つ間の金銭感覚は大事！

私が応援できること

毎年、課題をもらう花づくりですが、それぞれの段階で相談は受け付けますよ。一人で悩むより誰かに話すことで何かが広がりますから。

私たちも若い人たちにエネルギーを頂きたいわ。「今忙しい？ちょっと寄っていい？」電話をくださいな。おいしい？コーヒーを用意しますよな！

大分県指導農業士会

vol.26
R6~R7認定

そ が べ ゆうた
曾我部 勇太さん

(経営概況)

- ・ 営農地 (市町村) 佐伯市
- ・ 栽培品目 (経営面積) ハウスみかん (20a)、かぼす (120a)、
露地かんきつ (60a)
- ・ 従業員数 家族経営
- ・ 営農年数 5年
- ・ 販路 J A 共販



農業を志す担い手へのメッセージ

とりあえず、したいと思ったらやりましょう！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

30歳になったら農業をすると決めていました。色々な仕事や遊びをしてきましたが、農業は自分がした事が100%自分に返ってきます。なので、適当ないわけも出来ないのが楽しいし怖いです。

「全ては自分次第です。」ということを中心に思って現在農業経営をしています。

現在行っている農業経営の特徴

基本的には一人で作業をしています。経費が高く、売り上げも高いハウスみかんと経費は安い売り上げも低い露地みかんの組み合わせでバランスをとってやっています。

私が応援できること

私もまだまだ新規就農者です。分からない事も沢山あります。でも何が分からないという事が自分でわかっている、相談できる方々がいるので、それで完璧です。良いモデルケースを作れるよう頑張ります。

大分県指導農業士会

vol.27
R6~R7認定

とだか たくじ
戸高 拓志 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|------------------------|
| ・ 営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 菊（140a） その他4品目（50a） |
| ・ 従業員数 | 5人 |
| ・ 営農年数 | 20年 |
| ・ 販路 | J A 共販、個選 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は畑があれば、なにを作っても良いです。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

結婚を機に親元に就農しました。

3年後に経営移譲しました。

これまでは、輪菊を主に栽培をしていましたが、コロナウイルスが流行してから輪菊だけでなく、ホオズキ、トルコギキョウなども栽培を始めました。

現在行っている農業経営の特徴

専作から、多角的にやってみてます。

私が応援できること

農業を始めた方と悩みを一緒に考えることくらいです。

大分県指導農業士会

vol.28
R6~R7認定

はとざき たかし
波戸崎 孝 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・栽培品目（経営面積） | アスパラガス（8a） ニラ（22a）スモークツリー（7a） |
| ・従業員数 | 私と妻 |
| ・営農年数 | 8年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

日々コツコツ積み上げることに勝るものではありません。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校卒業後ずっと福岡で飲食の仕事をしていましたが、長男という思いがずっとあり、いつか佐伯に戻って両親を見守るのだと決めていました。子が生まれ小学校入学のタイミングでUターンして農業の道へ。前職の料理人から生産者への切り替えは自分の中ではとてもスムーズでした。サービス業から自身で生産管理をコントロールする農業は大変なことも多々ありますが、とても面白く充実した日々を過ごしています。以前は家族と一緒に過ごす時間が取れませんでした。農業を始めたことで子供の成長をしっかりとサポートできています。

現在行っている農業経営の特徴

妻と2人で管理できる最適な方法を模索中ですが就農8年目でよい形が出来つつあります。いかに収穫量を向上させられるか。高い品質を維持できるか。

ニラを主品目として効率のよい栽培モデルを作り上げていきます。

私が応援できること

実家が非農家でも大丈夫ですよ。日々の努力と研究心を心がけてください。豊かで楽しい生活が農業で実現できます。

相談事はいつでもいらして下さい。

出来るかぎりの応援をします。

大分県指導農業士会

vol.29
R6~R7認定

やまだ さだお
山田 定男 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| ・ 営農地（市町村） | 佐伯市 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | アスパラガス（10a）、 ニラ（80a）、水稻（1ha） |
| ・ 従業員数 | 家族経営 |
| ・ 営農年数 | 23年 |
| ・ 販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業分野程、多くの友達を作る分野はないと思います。多くの友達を作り農業関係・人間関係を学んでほしいと思います。また、多くの失敗をし、反省し成功してください。一日一日目標をもって挑戦して下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

両親が病気がちになったのをきっかけに、退職し就農しました。実家も農業とは縁のない家系だったものですから農地・品目も手探り状態でした。就農当初は、アスパラガスだけでした。アスパラガス先進地は殆ど視察し、北海道には面積的には劣るが品質と面積では九州一になるつもりでがんばってきました。50aで始めましたが、子供が脱サラし就農した関係や集落の水稻農家が就農した関係もあり、今はアスパラガス・ニラ・水稻の栽培を行っています。

現在行っている農業経営の特徴

アスパラガス・水稻については、収穫、調整は私の担当で、出荷はそのままJ A出荷しています。

ニラについては、調整機を導入し子供夫婦が担当しています。

私が応援できること

以前は、ホワイトアスパラガスを栽培し、レストラン・旅館・スーパーマーケットに販売をしていました。その時に感じたことは、相手のニーズにあった物づくりをし、信頼関係を築くことの大切さでした。そうした経験に基づきアドバイスをしていくことが私にできることだと思っています。

大分県指導農業士会

vol.30
R6~R7認定

う え き み わ
植木 美和 さん



(経営概況)

- ・ 営農地（市町村） 竹田市久住町
- ・ 栽培品目（経営面積） 黒毛和種子牛繁殖牛（100頭）、WCS（1.6ha）
- ・ 従業員数 4名（夫、本人、夫の母、パート）
- ・ 営農年数 7年
- ・ 販路 県内外肥育農家

農業を志す担い手へのメッセージ

人とのつながりを大切にして、楽しみながら共に頑張りましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

2005年に結婚し、愛知県から久住に来ました。

その年に、夫婦で大分県畜産試験場（現大分県農林水産研究指導センター畜産研究部）での1年間の研修に入りました。終了後、旦那の実家に親元就農しました。3人の子供の妊娠・出産・子育てをしながら働きました。

2017年に経営移譲を受け、現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 飼養している繁殖牛に人工授精をして、産まれてくる子牛を超早期母子分離で育てています。
- ・ 代用乳自動溶解装置、哺乳ロボットを利用し、作業の効率化を図っています。
- ・ 生後5ヶ月以降は農協運営のキャトルセンターに預け、市場出荷まで委託しています。

私が応援できること

飼養頭数が多いことで、良いことも悪いこともたくさん経験しました。周産期の管理、分娩介助の手技、子牛の初期の管理など、自分たちが身につけたことはどんなことでも教えます。

農業を続けていくのに必要不可欠なものは「仲間」だと考えています。新規就農の方が人のつながりを得られるような仲間作りの機会をたくさん作っていきたいと思います。

大分県指導農業士会

vol.31
R6~R7認定

おいしい やよい
大石 弥生 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------------|
| ・営農地（市町村） | 竹田市久住町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 大玉トマト（30a） |
| ・従業員数 | 2名（本人、父）、パート4名 |
| ・営農年数 | 9年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

毎日充実した日々が待っています。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

地元竹田市のとまと学校で、ゼロからトマト栽培について2年間学びました。

その後久住町で就農して、現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

作業者に女性が多いこともあり可能な限り軽労化に取り組んでいます。

私が応援できること

新規就農者・大玉トマト栽培者の悩みを聞きます。

大分県指導農業士会

vol.32
R6~R7認定

かいき けんし
改木 謙士 さん



(経営概況)

- ・ 営農地 (市町村) 竹田市
- ・ 栽培品目 (経営面積) 肉用牛 (繁殖23頭)、
水稲 (15ha)、WCS (1.8ha)
- ・ 営農年数 17年
- ・ 販路 J A 共販

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は、大変な中でも自分で時間がつくれる職業です。
結果はすぐには出ないけれど、将来に向けて夢があります。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

平成18年に森林組合を退職し、親元就農。

翌年に水田2.3ha、繁殖牛10頭の経営を継承。10年間は、林業の作業班をしながらの兼業だった。

平成20年に基盤整備後の水田でオペレータとして受託作業を開始、それが小作となり、今の水稲15ha、WCS1.8haの経営につながっている。

肉用牛は、子牛価格の上昇に伴い平成23年から増頭を開始、現在23頭。

現在行っている農業経営の特徴

水稲と肉用牛の複合経営。

ワラ、WCSの確保と、堆肥の循環が可能。堆肥が不足ぎみで、地域の畜産農家と連携をしている。

私が応援できること

私の持っている技術を伝えて行きたいです。気軽に声をかけてください。

近くの久住高原高校の生徒もよく来ています。

大分県指導農業士会

vol.33
R6~R7認定

たびら まさき
田平 真樹 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 竹田市荻町 |
| ・栽培品目（経営面積） | トマト(80a)、WCS(1.7ha) 水稲(30a) |
| ・従業員数 | 8名 |
| ・営農年数 | 23年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

最初は、いろいろ苦労すると思いますが、続けることでやりがいのある仕事になります。

共に大分の農業を盛り上げましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

もともと家がトマト栽培をしており、小さい頃からトマトにふれていたということもあり、高校卒業後、農業の専門学校に行き、親元就農しました。

栽培規模も少しずつ増やしてきて現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

トマトはすべてJ Aに出荷しています。

その中で赤採りトマトで出荷したり、JGAPを取得して付加価値をつけ、所得向上につなげています。

私が応援できること

まだまだ農業に対して未熟者ですが、今ある知識は教えていきたいと思っています。

また、人との繋がりも重要なので、できる限り繋げていきたいです。

大分県指導農業士会

vol.34
R6~R7認定

にゆうた しんたろう
入田 慎太郎 さん



(経営概況)

- ・ 営農地（市町村） 竹田市
- ・ 栽培品目（経営面積） ピーマン（35a）、水稲（120a）、ニンニク（20a）、椎茸（乾）（3万駒）
- ・ 従業員数 パート1名
- ・ 営農年数 20年
- ・ 販路 農協共販

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は、人が生きるための基本となる仕事です。
誇りを持ってはじめてみましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

県外の大学に進学し、就職していたが、地元の小・中学校の閉校を聞き、過疎の状況を知ったことをきっかけに帰郷し、親元に就農。私の就農を機に、ピーマンを10aに規模拡大、2年後に経営を継承。経営開始から5年をかけて30aに、10年目には45aまで拡大。現在は、ピーマン35aの他、水稲、ニンニク、椎茸の経営に取り組む。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ ピーマンが経営の中心。
- ・ 全量JA共販による省力化。
- ・ 振興局と協力し、新品種や、IPM等の技術を積極的に取り入れている。

私が応援できること

竹田市、県内で就農を希望している人がいれば、その人の思い描くライフスタイルを尊重し、ピーマン栽培の指導を通じて、農業で生活できるよう応援をしていきたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.35
R6~R7認定

わたなべ ようすけ
渡邊 陽介 さん



(経営概況)

- ・ 営農地（市町村） 竹田市
- ・ 栽培品目（経営面積） カボス（87a、うちハウス37a）、
干し椎茸（3万駒）、水稲（73a）
- ・ 従業員数 2名（本人、妻）
パート 60日/年
- ・ 営農年数 13年
- ・ 販路 J A、椎茸農協

農業を志す担い手へのメッセージ

日々の農作業を楽しみながら、大分の農業を元気にしましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私の実家はカボス農家でした。祖父が栽培を始め、父が経営を継ぎ、ハウス・貯蔵庫などの施設を整備して現在の経営に近い形となります。

私は福岡の大学から親元就農しました。高校は普通科、大学は商学部と農業を志してはいませんでした。大学生の時に初めて家業の繁忙期の仕事を一通り経験してみて、これまで感じたことがないような充実感がありました。それから親に頼み込んで就農に致します。

現在行っている農業経営の特徴

カボスはハウスでビニール被覆、加温をすることで促成栽培をして作業期間を長くすることで生産量の最大化を目指しています。椎茸、水稲は主力品目のカボス栽培への影響があまり出ない範囲内でしています。

私が応援できること

カボス栽培に関すること。今現在、竹田かぼす生産出荷組合の事務局をしています。生産者としてはまだまだ未熟ですが、部会として力になれるかと思えます。

大分県指導農業士会

vol.36
R6~R7認定

あそう りゅうせい
麻生 竜誠 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後大野市緒方町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 甘藷（330a）、ピーマン（26a） |
| ・従業員数 | 2名 |
| ・営農年数 | 9年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は思ったより厳しいです。

地域に根ざして、若いうちはベテラン農家や先輩農家を頼ることが重要です。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

平成25年より豊後大野市新規就農者技術習得研修施設「インキュベーションファーム」で2年間のピーマン栽培・経営についての研修を受けた後、平成27年1月より豊後大野市内でピーマンを15a、かんしょを20aの経営を開始しました。

令和2年度末に「FROGS FARM 株式会社」を設立し、家族経営から企業的経営への転換を図り、適正規模の維持を念頭に置きながら、さらなる規模拡大を進めています。

現在行っている農業経営の特徴

農業機械等の導入による省力化や栽培管理を任せられる人材の確保・育成を通じて、経営規模と反収の両立を図っています。

私が応援できること

農業の楽しさ、苦しさを経験してきました。

甘藷栽培等の経験・技術を伝えていきたいと思えます。

また、困ったことがあれば、何でも相談してください。

大分県指導農業士会

vol.37

R6~R7認定

あんどう のりあき
安藤 哲章 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後大野市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 水稲（6ha）、ピーマン（13a） |
| （農）ゆうじゃく | 水稲（20ha）、ライスセンター |
| ・従業員数 | 4名（本人、妻、父、母） |
| ・営農年数 | 11年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業はやりがいがある職業です。一方で、様々な課題があるのも事実。特に獣害対策は避けてとおれません。営農地を選ぶときに考慮してください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

工業高校卒業後、愛知県で自動車部品製造の仕事に就いたが、29歳の時に実家に戻ることを決意。

父がJA勤務の兼業農家だったので、自分は外で働きつつ、水田（4ha）の手伝いをしていたが、いつの間にか専業農家に。

稲作だけでは、生活ができないため、平成29年からピーマン栽培に取り組んだ。最初は知識や技術がなく、反収が低く、ピーマンが稼げる品目だとは思えなかった。

その後、同世代のピーマン農家（インキュベーションファーム卒）と情報交換をするようになり、トライ&エラーで反収をのぼし、今に至る。

現在行っている農業経営の特徴

水稲：2017年から密播苗移植による作業の効率化に取り組み、現在は地区の9割が密播苗です。

ピーマン：水稲作業があるのでハウスにいなくても液肥と水やりとミストをスマホで遠隔操作できるようにしました。自作なので、低コストでできました。水田なので、表面排水と地下排水に力を入れています。

私が応援できること

水稲・作業の効率化や獣害対策。ピーマン、特に水田でピーマンを栽培する為の指導。

自分で分かる事なら何でも相談にのるので気軽にお話ししましょう。

シーズン途中は誰かと「今どんな感じ？」「今後どうする？」などの話しをするのがおすすめです。ちょっとした会話の中にヒントが隠れていますよ。

大分県指導農業士会



おの なおき
小野 直樹 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後大野市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 水稲（10ha）、林業（70ha） |
| ・従業員数 | 1名 |
| ・営農年数 | 18年 |
| ・販路 | 直売所販売・直販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分が生産する作物の部会だけではなく、様々な分野の人と（実際に）会って、仲間作りをしましょう。それが財産になります。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農するために農業大学校へ。

卒業後、望まれる米を知るため北九州の寿司屋で1年働き、平成12年20歳で親元就農。このとき、父親が水田1ha、ブロイラー14万羽、祖父が林業をしていた。

平成18年、結婚を機に、もともと分担していた水田の経営を父親から継承。このときの水田面積は7ha。

令和元年、祖父の山林とは別に、地域の共有林を70ha購入し、林業を開始。

令和5年、ライスセンターを購入し、受託を開始。

現在行っている農業経営の特徴

- ・水稲10ha、作業受託（稲刈り・乾燥）、林業の複合経営。
- ・父の養鶏と連携し、鶏糞のみで米を作り、粳殻を鶏舎の敷料として還元。
- ・100%自主流通。
- ・もち米は、地元加工所で加工販売。

私が応援できること

就農して25年の間に得た、様々な経験・技術を伝えたいと思います。

米作り・林業についても気軽に聞いて下さい。

大分県指導農業士会

vol.39
R6~R7認定

かわの くにとも
河野 邦友 さん

(経営概況)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ・ 営農地 (市町村) | 豊後大野市清川町 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | サトイモ (40a) |
| (農)おはる | 稲(9ha)、大豆(6ha)、麦(8ha) |
| ・ 従業員数 | (農)おはる構成員10名 |
| ・ 営農年数 | 法人設立11年目 |
| ・ 販路 | J A |



農業を志す担い手へのメッセージ

- ・ 一歩踏み出す勇氣
- ・ 日々勉強

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

私の父が年々リタイヤする地区の水田を補完していました。その父も高齢になり、約12年前就農することになりました。時期を同じくして、地区で法人化の話が持ち上がり、将来を見据えて法人化することを決定しました。比較的條件は良く耕作放棄地はありません。法人化をきっかけに隣の地区からも耕作を依頼され、現在4haに増加しています。

地区内は転作に大豆を栽培しており、毎年ブロックローテーションしています。近隣の法人とも連携していて、作業の受託や人的交流も行っています。今後は園芸品目にも取り組もうと思っています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 米9ha : J A を通じて相対取引しています。地元の幼稚園にも納品しています。約30aの香りもち米を栽培しており道の駅で販売しています。
- ・ 麦8ha : 「トヨノホシ」を栽培しています。
- ・ 大豆5ha : 大分県産小粒納豆の原料「すずおとめ」を栽培しており、大分の業者(ニ豊フーズ)の納豆を食べるようにしています。
- ・ サトイモ40a : 大和いもです。出荷できないものは「おでん」に入れています。我が家のおでんはサトイモの割合が多いです。

私が応援できること

私は若い頃からスポーツ、祭り、飲み会が好きで、地区の行事に参加してきました。このことで地区の人とも交流ができ、かわいがってもらいました。農業に対する情報も聞きやすくなるので、できる範囲で地区の人と密接になることを勧めます。

大分県指導農業士会

vol.40
R6~R7認定

きもと きょうすけ
木本 恭輔 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-------------|
| ・営農地（市町村） | 豊後大野市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 夏秋ピーマン（16a） |
| ・従業員数 | 2名（本人、妻） |
| ・営農年数 | 14年 |
| ・販路 | J A → 市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

就農に迷っているのなら、まず相談を！！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農のきっかけは、ハローワークで見た就農研修のポスターでした。リーマンショックで会社の業績が落ち込みリストラされ無職となり、ハローワーク通いの中で職業訓練で「農業をやりませんか！！」のパンフレットが目飛び込みました。失業保険を受給しながら農業を学ぶことができるというものでした。

この研修で「農業できるかも！！」を実感した楽しい研修でした。1年半の研修中に研修先の県農業大学校を通じて県や市、農協などと連絡を取ることができ、そこから独立起業の援助をもらいました。農地や住宅、資金の相談、施設の補助申請など、研修中にほとんど決められました。現在の経営ですが、研修中に作成した経営計画が今でもベースとなっています。最初の計画が大切だとこの頃感じています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・単一品目に集中していること。
- ・出荷シーズンいっぱい（休みなし）で、とにかく量を出すこと。
- ・スケジュールを立てて、それに沿った収穫・出荷を行うこと。
- ・管理作業（主に防除作業）もスケジュール化して行うこと。
- ・作業の流れを毎日同じにして、無駄を省くこと。

私が応援できること

夏秋ピーマンでの就農を考えているのなら、相談に乗ることができます。実際の研修（1年間）も行っています。

大分県指導農業士会

vol.41

R6~R7認定

むとう としふみ
武藤 俊文 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| ・ 営農地（市町村） | 豊後大野市千歳町 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 黒毛和種繁殖（71頭） 稲WCS（7.4ha）、水稻（14ha） |
| ・ 従業員数 | 3名（本人、妻、父親） |
| ・ 営農年数 | 28年 |
| ・ 販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

すぐに結果を求めるのではなく、長い月日をかけて周りから信頼される農業をめざしてほしい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

大学の時一ヶ月ほど農業体験で学び、家で農業をやってみたいと思いました。大学で人工授精、大型特殊の免許を取り、家で自分でできる作業をしてきました。年間出荷頭数を増やすため一年一産を目指し、ボディーコンディション等の管理をし、哺乳ロボット導入を進めて取り組んできました。

狂牛病、口蹄疫等ありましたが、水稻複合経営でなんとか現在まで続けてきました。現在は規模を維持していますが、後継者が戻って経営できるよう整えています。時代に合った農業をこれからも目指していきます。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 自給飼料を主体とする。
- ・ 水田や畑には堆肥を還元し、循環させている。
- ・ 深夜の分娩を避けるため、日中分娩に取り組んでいる。現在、監視カメラを導入し、外出中でも分娩室を見ている。
- ・ 水稻は父親主体、牛は私で、分担して作業している。

私が応援できること

就農してまだ28年ですが、私が経験してきたことなら伝え教えることができます。失敗していろいろなことを学び、考え、対策していいものを作っていけると思っています。

私も地域の先輩たちに相談にのってもらったり、若い後継者たちとの交流も大切にしています。1人でいろいろ悩まず、まずは行動してみてください。必ず自分に合ったことができると信じて農業を！！

大分県指導農業士会

vol.42
R6~R7認定

かわづ ゆうじ
河津 祐二 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|--------------------|
| ・ 営農地（市町村） | 日田市 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | えのき（80万袋/年）、梅（40a） |
| ・ 営農年数 | 34年 |
| ・ 販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分の経営のみならず、産地全体の5、10年先を見据え、現状の労働力や規模等を再認識し、軌道修正していくことが、効率の良い、長く続く経営へと発展していくポイントと思います。

経営が安定して長続きするには、雇用は必ず必要 今は良くても将来は必ず必要になるものと想定しておきましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 家業のえのき、梅を継ぎ、就農当初は菌床椎茸や舞茸にも取り組んだ
- ・ 将来、手元にいくら必要かを考え、そこを出発点として経営品目や規模を計画してきた
- ・ 現在も毎年経営計画を作成、経営環境悪化（単価2割安、経費2割増を想定）しても経営継続できるよう資金繰り等を考慮している

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 年間安定した所得が確保できるよう日々営農
- ・ 毎年の経営計画にて経営環境が悪くなるシミュレーションも実施し、健全経営を実践
- ・ 農地の面積が少なくても所得を確保できる品目としてえのきを選択（回転率が早いことも理由）

私が応援できること

自分の経営および産地の5年、10年先を想定し、わかっているリスク（労働力不足や高齢化による産地の縮小等）には、しっかりと備えることが重要。

これからの担い手の皆さんに実践を通じて伝えていきたい。

大分県指導農業士会

vol.43

R6~R7認定

たかせ まさひろ
高瀬 政寛 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|------------------|
| ・ 営農地 (市町村) | 日田市 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 梨 (84a)、水稲 (92a) |
| ・ 営農年数 | 38年 |
| ・ 販路 | J A 等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

儲かる農業も大事ですが、趣味や楽しみを持ち、メリハリのある経営をすることが、長く続けられるポイントだと思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 家業 (梨、すもも、ぶどう、水稲) を継承
- ・ 中学生の時から継ぐ計画を持ち、農業高校、農大で学ぶ
- ・ 当時の梨部会長の園にて、実際の段取りを学び、自身の農場でも実践しながら技術取得
- ・ 現在梨、水稲中心。繁忙期が重複するため、作業外部化も取り入れながら経営

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 梨はコストを抑えつつ、収益も上がる品種の組み合わせを選定
- ・ 昨今の夏場の天候不順により難しい場面もあるが、仲間と協力しながら克服している
- ・ 年間の作業スケジュールを基に、作業を分割・外部化し、労働力を補完。

私が応援できること

- ・ 事前に農地を少し確保して、自分で実践しながら、学んでいけるような準備が大切
- ・ 経営のことも親御さんと少しづつ話をして、状況を把握していくこと
- ・ メリハリのある農業するために、一生懸命努力した自分へのご褒美や夢を持つこと (旅行、スポーツ等) はとても重要!

大分県指導農業士会

vol.44

R6~R7認定

ひらかわ おさむ
平川 修 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------------|
| ・営農地（市町村） | 日田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 繁殖牛（50頭）、水稻（60a） |
| ・営農年数 | 23年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分の経営に責任を持つこと。信用が第一。
生産性の向上を常に目指し、ゆとりある経営を目指して下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・家業であった畜産（繁殖牛＋養豚）を手伝うとともに、J A 営農指導員としても勤務
- ・繁殖牛経営に一本化するとともにJ A を退職
- ・繁殖牛20頭からスタートし現在50頭規模
- ・現在は日田地域肉用牛定休型ヘルパーの代表も務めている

現在行っている農業経営の特徴

(儲かる経営の実践)

繁殖牛の分娩事故低減等のほか、月次決算による資金シミュレーションを実践。

(省力化・家族にやさしい経営)

作業動線を考慮した牛舎構造、定休型ヘルパー活用により休日を確保し、ゆとりある経営を実践。

私が応援できること

責任ある経営者として、これまでの実践を基にした色々なアドバイスをさせて頂ければ幸いです。

共に儲かる、ゆとりある経営を目指しましょう。

大分県指導農業士会

vol.45

R6~R7認定

もりぐち つぐお
森口 嗣男 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・営農地（市町村） | 日田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 梨（120a）、水稲（80a） |
| ・営農年数 | 34年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

新技術の導入にはリスクも伴うが、チャレンジしなければ何も得るものはない。経験を重ねていっても、常にチャレンジして行って欲しい！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ J A 勤務後、親元就農して規模拡大
- ・ 就農時、園地は中間山間地に位置していたが、将来の作業性、後継者のためにも平坦地で拡大
- ・ 作業をできるだけ機械化できるように、作業しやすい園地づくりに努めている
- ・ 産地の発展には新技術による刺激が必要

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 大苗育苗と流線型仕立てによる早期成園化技術を早くから実践
- ・ 大苗生産も行い、部会員の改植や新植に活用されている
- ・ 新技術（早期成園化技術等）の普及により、産地全体の生産性向上を目指している

私が応援できること

- ・ 新規就農者の経営確立のためサポートします
- ・ 将来の作業性を考慮した園地づくり等について、実践に基づいたアドバイスができます
- ・ 自分の経営だけでなく、産地の発展を考えることの大切さを伝えていきたいです

大分県指導農業士会

vol.46

R6~R7認定

やわた まりこ
矢幡 万里子 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------------|
| ・営農地（市町村） | 日田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | ハーブ（15a）、水稻（15a） |
| ・営農年数 | 32年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

自分の農業を好きになってほしい。いろんな事につまづく時もありますが、夢をもって諦めず努力を続けたら、きっと叶えられます。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 3人目の次女が生まれて義母が亡くなり、子ども達が幼い中、義祖母の介護が始まった
- ・ 畑1枚を義父にもらってハウスを建ててハーブ栽培を始めた
- ・ 義祖母が亡くなり、ハウスを増やし、クレソン栽培を始めた
- ・ 子ども達が小学生・中学生になり手がかからなくなってきたので、ハウスを増やしハーブの面積を増やした
- ・ 農協のハーブ部会の役員を受け、現在は部会長に就任して10年になる
- ・ ハーブ部会の指導員として新規の栽培者の指導も行っている
- ・ ハーブ部会には高齢の生産者が多く、栽培を続けられるようサポートし、部会の仲間と協力し楽しく栽培することを心がけている

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 安定した収入が得られるよう、計画的に出荷するよう努めています
- ・ 近年の異常気象により病害虫に悩まされますが、早期防除を心がけ、品質の良い物を栽培するよう努めています

私が応援できること

- ・ 生活、環境に合った品目を推奨していきます
- ・ 自分が子育てしながら農業をやってきた経験を活かし、若い人達の相談相手として気軽に声をかけていただけたら嬉しいです
- ・ 一緒に農業を楽しみましょう！

大分県指導農業士会

vol.47

R6~R7認定

あさおか せいいち
浅岡 清一 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|---|
| ・ 営農地（市町村） | 九重町 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 梨（1.7ha）、水稻（1.2ha） りんご（30a）、自然薯（10a） |
| ・ 営農年数 | 14年 |
| ・ 販路 | J A等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

自然相手のため、苦しいときもあるが、諦めず一生懸命努力を続けて欲しい！

これからは雇用しないと営農継続は難しい。近所の人にいつでも声を掛けられるよう、日頃の地域とのつながりを大切に！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 定年退職を機に家業である農業を継承
- ・ 梨、水稻は作業性を考慮しながら規模拡大してきた
- ・ J A出荷のほか、直売等も行い、販売ロス減少に取り組んでいる

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 梨は現在、早生から晩生まで生産しているが、労働力に合わせ、品種構成を変えている
- ・ ふるさと納税の返礼品や直売を通じ、消費者のニーズ把握に努めている

私が応援できること

- ・ 梨は無収入の期を如何に短縮できるかが重要
- ・ 農地確保や早期成園化の技術、また極力緻密にデータを把握することなど、実践に即したアドバイスをしていきたい

大分県指導農業士会

vol.48
R6~R7認定

さとう しゅういち
佐藤 秀一 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|---------------------|
| ・ 営農地（市町村） | 九重町 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 夏秋トマト（45a）、水稲（120a） |
| ・ 営農年数 | 26年 |
| ・ 販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は一生の仕事！無理せず自分のペースで長く続けられる経営を目指して下さい！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 家業であった農業（トマト、水稲、肉用牛）を継承
- ・ 約10年前にトマトと水稲を経営の柱に
- ・ 就農してからコツコツと施設を整備
- ・ 6年ほど前から九重町における夏秋トマトのファーマーズスクール（FS）のコーチに就任

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 夏秋トマトのFSコーチとして、新規就農者の育成にも注力
- ・ 農事組合法人 くりばるの組合長として、地域の農地保全にも取り組んでいます
- ・ 雇用（パート2名）を活用し、経営規模を維持

私が応援できること

生活面も含め、地元に関わった農業経営を応援します。

自分の農業だけでなく周囲の農地を守ることの大切さも伝えていきたいです。

また、作業動線を考慮した農地選び等、実践に基づいたアドバイスも出来ます。

大分県指導農業士会

vol.49
R6~R7認定

よしみつ こういち
吉光 巧一 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|-----------|
| ・ 営農地 (市町村) | 九重町 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 白ねぎ (3ha) |
| ・ 従業員数 | 10名 (臨時) |
| ・ 営農年数 | 17年 |
| ・ 販路 | 市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

白ねぎの生産技術及び病害虫に対する専門知識の養成を行いたい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 子供の専門学校進学をきっかけに会社員を辞め、定年のない農業を目指すことになった
- ・ 初期投資の少ない「白ねぎ」を経営主体品目に選び、現在に至る
- ・ 高冷地の為、地域の性質上、夏秋どりしかできないが、令和元年度より、無収入の期間が少なくなるように、他地域で冬春どりも行っている。

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 就農当初からブランド化を目指し、現在白ねぎ「白王」として販売
- ・ 異常気象により病害虫の多発が常態化している中、安定した収量と品質を得るため、情報や農薬データを収集して、早期防除に心掛け、作物の生長を阻害しないようにしています

私が応援できること

自分が農業で経験して良かった事や、失敗した事を伝え、農業を長く継続してもらえる様に手助けが出来ればと思っています。

大分県指導農業士会

vol.50
R6~R7認定

じんれん かつゆき
神連 克之 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------------|
| ・営農地（市町村） | 玖珠町 |
| ・栽培品目（経営面積） | ピーマン（24a）、白ねぎ（15a） |
| ・営農年数 | 33年 |
| ・販路 | J A |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は「常に反省」し、「探究心を持ち」、「ポジティブに楽しく」をモットーに日々励んで下さい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・若い時から農業に興味があり、30年程前に就農しました
- ・特に有機栽培に興味があり、現在に至ってます
- ・地域や同じ品目を作っている仲間づくりを大事にし、自分だけが頑張るのではなく、仲間と共に切磋琢磨することを心がけてます

現在行っている農業経営の特徴

- ・GAP（農業生産工程管理）を一部で取り入れ、安全・安心な作物を消費者に届けられるよう努めています
- ・新しい技術などは、必ず自分の目で見て確かめ、仲間と相談しながら取り組んでいます

私が応援できること

農業は、初期投資を如何に抑えてスタート出来るかがポイント。

また、土壌や気候などの環境は毎年変化するため、常に工夫と反省をしながらも、「楽しむ」ことの大切さを伝えていきたいです。

大分県指導農業士会

vol.51

R6~R7認定

ながお ゆきひろ
長尾 雪広 さん



(経営概況)

- | | |
|--------------|------------------------------|
| ・ 営農地（市町村） | 玖珠町 |
| ・ 栽培品目（経営面積） | 水稲（20a）、ピーマン（7a） 肉用牛（10頭） |
| ・ 営農年数 | 21年 |
| ・ 販路 | J A等 |

農業を志す担い手へのメッセージ

生命をつくり、育て、自分も成長していく、そんな機会を必要とする人になってもらいたい。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 将来は肉用牛への就農を目指していた
- ・ 高校卒業後、畜産の業界を深く学ぶため食肉関連会社に長年勤務
- ・ 平成14年に家業の農業を継承し、水稲とピーマン栽培をスタート
- ・ 平成16年より念願の和牛繁殖経営も開始

現在行っている農業経営の特徴

- ・ 水稲、ピーマン、繁殖牛の複合経営
- ・ 経営のコストを抑え、極力自己資本による経営に努めています
- ・ 労力にあった経営になるよう、日々工夫しています

私が応援できること

自ら実践しながら学べる環境づくりのため、実践用のハウス（ピーマン）も用意しています！

大分県指導農業士会

vol.52

R6~R7認定

のむら ゆきひろ
野村 幸弘 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|-------------|
| ・ 営農地 (市町村) | 玖珠町 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 夏秋トマト (35a) |
| ・ 営農年数 | 17年 |
| ・ 販路 | 農協 |

農業を志す担い手へのメッセージ

農業は大変な事も多いですが、努力した事が結果に現れると思います。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 29歳の時に会社を退職
- ・ 家族が所有している水田をトマトに転換
- ・ 20aから始めて、徐々にハウスを増設し現在35aで経営
- ・ 労働力の省力化に向けた栽培技術の研究にも取り組んでいます

現在行っている農業経営の特徴

- ・ コスト削減による経営の維持を図っています
- ・ 労働力不足の対策として、省力化・軽労化に取り組んでいます
- ・ 新しい品目導入を計画中

私が応援できること

自分の身の丈にあった経営から始めることが重要だと思います。

自分が就農して経験した失敗や成功事例について話しながら、共に成長していきましょう！

大分県指導農業士会

vol.53
R6~R7認定

ふじもと たいち
藤本 太一 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| ・ 営農地 (市町村) | 玖珠町 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 水稻 (1ha)、露地ピーマン (12a) 椎茸 (10万駒) |
| ・ 従業員数 | パート延べ150日 |
| ・ 営農年数 | 32年 |
| ・ 販路 | 農協 |

農業を志す担い手へのメッセージ

人生は思い通りにはいかないものですが、どうすれば良いかを考えることも苦しみであり、楽しみでもあります。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

- ・ 卒業後、サラリーマンを2年経験し、母の病気をきっかけに就農
- ・ 子供の頃から農業は手伝っていたが、職としての農業は失敗もあった
- ・ 30歳過ぎに経営を継承
- ・ 毎日の作業を四季と共に過ごす農業は、自分に何かを教え、育んでくれます

現在行っている農業経営の特徴

- ・ コスト削減は必要だが、しっかりコストを掛ける部分とメリハリをつけている事
- ・ しっかりとしたモノ作りは基本であり、売り先は自由です

私が応援できること

- ・ 30~40代は苦しい時期もありましたが、今思い出すと、暖かく、元気にもなります
- ・ 皆さんも苦しい時期はあるかもしれませんが、自分だけが苦しいと思わず、周りを頼り、相談して下さい

大分県指導農業士会

vol.54
R6~R7認定

いいじま まさとし
飯嶋 誠利 さん

(経営概況)

- | | |
|-------------|---|
| ・営農地（市町村） | 中津市 |
| ・栽培品目（経営面積） | ねぎ（120a）、ブロッコリー（120a） 小ねぎ（64a）、他野菜（250a） |
| ・従業員数 | 家族3名、雇用5名 |
| ・営農年数 | 24年 |
| ・販路 | 直売所 |



農業を志す担い手へのメッセージ

農業に興味があるなら農家のお手伝いからでも始めて見ませんか？

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

祖父や父が野菜や畜産、観光農園などを営んでおり、農業を身近に感じて育ちました。自分自身は農業高校を卒業後、ケールの栽培を行う会社に就職しましたが、さらに農業を学ぶため、タキイ園芸専門学校に入学、園芸に関する知識を深めました。卒業後は岐阜県で新規就農しましたが、親は大分県で農業に取り組んでおり2拠点で農業を続けるよりはとの思いから10年後、大分県へUターンしました。

当初はハウス小ねぎ中心の農業でしたが、地元の道の駅直売所ができたのをきっかけに、直売所向け野菜の多品目栽培へ移行し、品目・面積の拡大を続けています。

現在行っている農業経営の特徴

- ・同一品目のみでは、価格暴落や作業ピークの偏りなど経営リスクがある。
- ・直売所向けに多品目の野菜を、年間通して出荷量を一定になるよう作付けすることで、どの月でも収入が安定する。
- ・常時雇用出来るだけの仕事量も確保出来るため、雇用の安定化にもつながっている。

私が応援できること

直売所向け野菜の販売動向を把握し、栽培計画をたてています。連作障害や要素欠乏症なども考慮した作付け計画についてお話できます。

農業に最初に触れる機会を提供するため、条件が合えば、短期雇用や農業体験研修も受け入れ可能です。

大分県指導農業士会

vol.55
R6~R7認定

おはら よりこ
小原 頼子 さん

(経営概況)

- ・営農地（市町村） 中津市
- ・栽培品目（経営面積）（株）おはら果樹園firm
代表取締役
柑橘・栗（4.7ha）・加工品
- ・従業員数 非常勤20名
- ・営農年数 23年
- ・販路 道の駅、直売所



農業を志す担い手へのメッセージ

キツイ、汚い、儲からないイメージでしたが今ではまんざらでもありません。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

主人の親二人が病に倒れたとき、主人はサラリーマンで果樹園を継ぐ人がいませんでした。そこで、まったく農業経験の無かった私が就農し、園の管理を引き継ぎました。終の棲家と決めて引っ越してきて間がない時だったので友だちもいなく、隣近所もどんな人が住んでるかもわからない状況の中、とにかくひたすら頑張ってきました。

主人が早期退職して一緒に農業するようになってからは、付加価値をつけた販売のため加工品の開発・販売も手がけました。個人事業主、白色申告、青色申告、そして株式会社に、少しずつ少しずつ慎重に手堅くここまで築き上げました。

現在行っている農業経営の特徴

柑橘は40種類以上の品種を栽培。独自の品種を開発するなど直売所を中心に多品種の強みを活かした販売を行っている。

規格外品の有効活用から始まった加工品開発も拡大。

今ではスマート農業実現のため大学との研究支援も進めている。

私が応援できること

自分自身、まったく農業を知らないところからのスタートだったので、初めて農業をする方の気持ちが分かります。

農業実習の受け入れをし、農業の魅力を存分に伝えていきたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.56
R6~R7認定

かわたに てつや
川谷 哲也 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 中津市耶馬溪町 |
| ・栽培品目（経営面積） | 合同会社お茶の川谷園代表 茶（6.7ha）、水稲（7.5ha） |
| ・従業員数 | 2名（妻、母） |
| ・営農年数 | 26年 |
| ・販路 | 百貨店等直売 |

農業を志す担い手へのメッセージ

やり方次第で、どうにでもなる。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

将来の進路を考えていた高校生時代、家族会議で父の「茶畑を3倍に拡大し、米作りを増やす」との言葉に背中を押され、就農を決意しました。

静岡県の野菜茶業研究所（現・農研機構 果樹茶業研究部門「金谷茶業研究拠点」）で2年間の研修を受けました。研修中、同級生の影響を受け、手もみ茶の技術に挑戦。競技会で目標の3位入賞を果たし、茶もみの深さを体感しました。

平成23年、全国手もみ茶品評会にて農林水産大臣賞を受賞し、西日本で初めて「茶聖」の称号を賜りました。また、後進の指導するための技術を磨くため、令和5年に日本手もみ製茶技術資格審査委員会にて「師範」の認定を受けました。

令和4年6月に事業継承し、妻と母の3人で切り盛りをしています。

現在行っている農業経営の特徴

お茶については、栽培から販売までほぼ一人で手掛けています。商品開発は緑茶だけでなく、「和紅茶」「粉末スティック茶」など新たな商品開発や百貨店など催事出店にもチャレンジしています。また最近、お茶の有機栽培の取組も始めました。

私が応援できること

今後は、世の中の情報を的確にとらえ、柔軟に対応していく経営が求められております。

今までの経験をお伝えできますので、何かご相談がありましたら、お声掛けください。

大分県指導農業士会

vol.57
R6~R7認定

たかまる ひろし
高丸 博 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・営農地（市町村） | 中津市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 梨（30a）、ぶどう（30a） |
| ・家族経営 | 2名 |
| ・営農年数 | 26年 |
| ・販路 | 主に直売・市場 |

農業を志す担い手へのメッセージ

現在農業は厳しい状況ですが、今から若い皆さんが農業を盛り上げて！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

自分は、農業高校を卒業して一度会社に就職しましたが、工場での作業が嫌になり、退職して農業をやり始めました。家族とともに梨と種なしぶどうを栽培しています。

農業を始めてから農業後継者の団体に入って視察研修や、自分の経営課題を解決するためのプロジェクト発表などを行う中で、いろいろなことを学ぶこともできたし、農業者の仲間もできました。その経験が今の栽培技術にも活かされています。

現在行っている農業経営の特徴

梨5品種、種なしぶどう3品種を栽培し、主に生産者直販で販売しています。

旧中津市の果樹農家は主に直売で生計を立てており、近隣に生産者直売の農家が多くあり、フルーツロードと銘打つことでお客さんが集まりやすく、集客効果が上がっています。

私が応援できること

私が応援できることはこれまで培ってきた梨、ぶどうの栽培面での技術指導です。

他はできませんが……

なにか気になることがあれば遠慮なく声をかけて下さい。

大分県指導農業士会

vol.58
R6~R7認定

つねなり しんいちろう
恒成 辰一郎 さん

(経営概況)

- ・ 営農地（市町村） 中津市山国町
- ・ 栽培品目（経営面積） (株) 農業生産法人やまくに
代表取締役
主食用水稻(7ha)、SGS(15ha)、梨(20a)
- ・ 従業員数 15名
- ・ 営農年数 10年
- ・ 販路 自社販売、直売（道の駅等）、
ふるさと納税



農業を志す担い手へのメッセージ

農業を取り巻く環境は厳しいですが農地と一緒に守って行きましょう。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

地元で仕事を探す中で市報に公社やまくにの求人があり応募しました。非農家で全くの未経験でしたが上司に教わりながら、水稻に関するいろいろな作業ができるようになりました。自由に計画を立てて作業ができる点と収穫の喜びを感じる点で農業は自分に向いていると思うようになりました。

若手職員が増えていく中で「早いうちに農業経営を学んでほしい」という前代表の意向もあり令和5年に会社の役員を、私を含めた若手に移行しました。

若手を中心に山国で梨など米に換わる作物を模索しつつ、社内と働き方改革に取り組むなど、新しいことに取り組んでおります。

現在行っている農業経営の特徴

水稻、梨を中心に作業受託も受けております。周辺地域から集まる牛ふんから作られる堆肥を使って農業に活かす循環型農業を目指しています。中山間地で作られた山国のお米をブランド化して近隣の直販所や道の駅、ふるさと納税にも出品しております。

私が応援できること

農業未経験でのスタートでしたので、その立場での経験ややっておけばよかったことをお伝えできると思います。また仕事を通して得た人脈を使って経営に関するヒントを持った方を紹介できると思います。

大分県指導農業士会

vol.59
R6~R7認定

なかむら しょうじ
中村 詔治 さん

(経営概況)

- | | |
|---------------|--|
| ・ 営農地 (市町村) | 中津市 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | 個人：水稲、そば(6ha) (農) 西谷あい耕社代表理事 水稲、そば(8ha) 作業受託(5ha) |
| ・ 従業員数 | 臨時2名 |
| ・ 営農年数 | 41年(法人16年) |
| ・ 販路 | J A、直売、契約栽培 |



農業を志す担い手へのメッセージ

人生は一回しかない。目標に向かって挑戦するべし！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

45年前小平市(東京都)で庭にヤギを遊ばせ、ブルーベリー栽培をしているのにあこがれ、帰郷して実家の農業を継ぎました。3年ほど栽培してみたものの、ブルーベリーは土地に合わない気がしたので、圃場整備のタイミングでハウスを建てて、いちご栽培に取り組みました。

その後、地域の農家も激減したので、地域の農地を集約するため、水稲、そば中心の経営に移行し、法人を立ち上げ現在に至ります。

現在行っている農業経営の特徴

水稲、そばを中心に作業受託も受けています。地域は中山間地域に位置しており、農地は一枚の面積が狭く傾斜地で、鳥獣害にも毎年見舞われています。

中山間地域等直接支払交付金を有効に活用しながら地域のみんなで頑張っています。

私が応援できること

- ・ オペレーター技術
- ・ そば栽培
- ・ ブルーベリー栽培
- ・ 米作りは少し自信なし

自分で時間を作って農村暮らしを楽しみましょう！

趣味は絵画です。

責任は持てませんが相談に来てください。

大分県指導農業士会

vol.60
R6~R7認定

かたぎり かずひこ
片桐 和彦 さん



(経営概況)

- ・ 営農地 (市町村) 豊後高田市など
- ・ 栽培品目 (経営面積) (株)匠牧場代表取締役
肉用牛肥育(800頭)
- ・ 従業員数 8名
- ・ 営農年数 18年
- ・ 販路 自社流通

農業を志す担い手へのメッセージ

生産だけに目を向けず、自力で販売し、ガッチリ儲けよう！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

妻の家の家業であった肉用牛肥育に興味があり、平成18年に就農しました。就農時は、和牛肥育70頭でしたが、経営規模も小さく、収入も安定しませんでした。5年くらいかけ、徐々に増頭し、平成23年に130頭くらいに牛が増え、割と収入は安定しましたが、利益として残る金額は少なかったです。

それまでは系統販売をしていましたが、平成25年からは自力で販売するよう方針転換したことで、販売経費も減り、利益として残る金額が増えました。順調に販売先も増え、牛が足りなくなったので平成29年に杵築市に新牛舎を建設し、現在は800頭規模で経営しています。

現在行っている農業経営の特徴

飼料を自家配合で作ってます。経費の4割近くを占める飼料は、一般的に外国産の穀物と牧草が中心で価格も外的要因で不安定ですが、国産中心の穀物の副産物、飼料用米を自家配合して使うことで安価安定に供給できます。

サシ重視でなく明日も食べたくなる美味しい肉になるよう心掛けて配合しています。

私が応援できること

つい、売上げを上げることに目を向けがちですが、入る金額だけでなく、出る金額(経費)をいかに抑えるかによって手元に残るお金が決まります。

経営者として経費削減や経営安定化を目指す視点や、販路開拓のためのバイヤーとの付き合い方など自分が取り組んできたことをお話しできると思います。

大分県指導農業士会

vol.61
R6~R7認定

きよすえ たける
清末 武尊 さん



(経営概況)

- | | |
|---------------|--|
| ・ 営農地 (市町村) | 豊後高田市 |
| ・ 栽培品目 (経営面積) | (有)豊後農興 代表取締役 水稻 (47ha)、麦 (25ha)、 大豆 (3ha)、小ねぎ (70a) |
| ・ 従業員数 | 5名 |
| ・ 営農年数 | 18年 |
| ・ 販路 | J A、直売 |

農業を志す担い手へのメッセージ

積極的になんでもチャレンジしてください。
挑戦することで学べるものが、たくさんあります。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

元々、父が原木しいたけ経営をしていましたが、24歳の時に父が亡くなったため、家に戻り就農しました。

高田地区営農青年同志会にも入会し、当時課題であった鳥獣害対策についてプロジェクト発表をしたこともあります。

東京電力福島第一原発事故の風評被害により、しいたけの価格が下がったため個人経営を離れ、元々アルバイトとしてお手伝いをしていた(有)豊後農興に入社、米、麦、大豆の作業管理を任せられるようになりました。

そして、徐々に作業計画立案や経営についてのノウハウを学び、令和3年に代表取締役就任しました。

代表就任後は農地集積による面積拡大、有機質肥料の投入の取組など、いろんなことにチャレンジし、更なる経営発展を目指しているところです。

現在行っている農業経営の特徴

水稻栽培では育苗から収穫、乾燥調製まで自社で一貫して行っています。

品種毎の田植時期から逆算して作業計画の策定及び工程表を作成し、従業員と情報共有することで作業遅れがでないようにしています。

私が応援できること

何か挑戦する時に困ったことがあったら、何でも相談してください。

一緒に勉強しながら、ともに農業経営を発展させていきましょう。

大分県指導農業士会

vol.62
R6~R7認定

たなか まさし
田中 正志 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|-----------|
| ・営農地（市町村） | 豊後高田市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 白ねぎ（18ha） |
| ・従業員数 | 16名 |
| ・営農年数 | 23年 |
| ・販路 | 出荷団体（民間） |

農業を志す担い手へのメッセージ

資材高騰や気候変動等厳しい状況ですが、やりかたを工夫し、計画的に投資を行えば、必ず克服できます！！！！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

大学卒業後、4年間民間会社で営業に携わりました。営業先で多くの経営者に会い、経営のノウハウを学びました。業種は違えども、学んだノウハウを農業に活かしたいという思いから、白ねぎ栽培を営んでいた実家に戻り、就農しました。

当初、経営面積は8haでしたが計画的に規模拡大を図り、高単収を維持しながら、現在の18haの経営規模にまで発展させていきました。

また、平成27年に法人化、平成29年に事業を継承し、代表取締役就任しました。

昨今、産地全体で問題となっている高温対策に対応するため、計画的にかん水設備を導入したり、作業省力化のためドローンによる白ねぎ委託防除の仕組みを産地に提案するなど、先を見据えた経営を心がけています。

現在行っている農業経営の特徴

機械や資材への投資の際は費用対効果を徹底して見極めています。

新技術導入の際は、播種計画等作業全般を見直し、最適化を図っています。

あらゆるリスクに対し、後手にならないよう早めに対処しています。

私が応援できること

技術的なことはもちろん、品目に限らず、経営の考え方、ノウハウなど全般的な相談に対応出来ますので、何でも相談してください。

大分県指導農業士会

vol.63
R6~R7認定

なかい ていいち
仲井 貞一 さん



(経営概況)

- ・営農地（市町村） 豊後高田市
- ・栽培品目（経営面積） （株）仲井農園代表取締役
白ねぎ・野菜（30ha）
- ・従業員数 正規雇用24名、パート1名
- ・営農年数 43年
- ・販路 直接取引・JA通し相対取引

農業を志す担い手へのメッセージ

目指す農業を突き詰めて！事業に失敗はつきもの、やり直しはききます。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

実家が牧場経営を始めるため、進路変更して、実践大学（現：大分県農業大学校）の畜産課へ。卒業後畜産を始めたものの、8年目に牛肉の輸入が自由化されたことで1億5千万円の借金を抱えることに。肥育から回転の速い育成へ転換するとともに、白ねぎを始めた。畜産の育成補助金が下がったのを機に畜産部門を人に譲り、白ねぎに集中して経営を立て直した。

40代の頃には借金を完済。今の時代は政治・経済・輸入などでこれから先何が良いか分からないので、連作対策を兼ね、白ねぎが価格・品質ともに不安定になる夏の代替作物を模索しチャレンジしている。

現在行っている農業経営の特徴

白ねぎを周年安定的に出荷することを目指し、市内の干拓地帯を主軸に夏は温暖化リスクを避けて市外の高原地帯に出作している。

従業員が多く自分が全作業を確認することができないので、GAPを取得し生産工程ごとに従業員の責任の所在を明確に位置づけることで安定した品質の生産を維持している。

私が応援できること

いろいろな問題を乗り越えた経験があるので、現場のことから経営のことまで何でも相談にのります。自分の経験してきたことは話せますが、価値観はそれぞれだと思うので押しつけるのではなく、お互い一緒に勉強になればと思います。

農業をとりまく条件は年々厳しく、自分も勉強を重ねたいと思っています。

大分県指導農業士会

vol.64
R6~R7認定

いけだ まさひこ
池田 雅彦 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|---------------|
| ・営農地（市町村） | 宇佐市 |
| ・栽培品目（経営面積） | 水稲・飼料用米（25ha） |
| ・家族経営 | 妻、長男 |
| ・営農年数 | 45年 |
| ・販路 | J A 共販・直売 |

農業を志す担い手へのメッセージ

夢は夢。夢を目標に変えて、実現するための手段を考える！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

18才で高校卒業後、父親のもとで兼業農家を始めました。父が病気で倒れてから専業になり、しばらく母と、妻とともに営農していました。その後、10年前に長男が就農して、今は妻と長男の三人で営農しています。

20年位前から、9集落一体となって村づくりに取り組み、地域交流のためにまつりを開催したり、農業の分野では営農組合を法人化するなど地域の中心として活動してきました。中山間地域で条件は厳しいですが、地域を守るために集落の人と力を合わせています。

現在行っている農業経営の特徴

水稲を中心に飼料用米、WCS、加工用米などを作付けています。地域は中山間地域に位置しているので圃場一枚当たりの面積が狭く、管理が大変です。

その分、地域の環境を活かした付加価値のある米の販売を行い収益を確保しています。

私が応援できること

機械のオペレーター技術や水稲の省力・効率的な栽培方法を教えることができます。

集落の中での人との接し方に迷った時など、気軽に相談に来てください。

大分県指導農業士会

vol.65
R6~R7認定

おかざき けんいちろう
岡崎 憲一郎 さん

(経営概況)

- | | |
|-------------|--|
| ・営農地（市町村） | 宇佐市 |
| ・栽培品目（経営面積） | （有）むら豊富代表取締役 飼料用米・大豆・ 水稲・麦（15ha） |
| ・営農年数 | 43年 |
| ・販路 | J A、直売、加工販売等 |



農業を志す担い手へのメッセージ

刻々と変化する農業情勢を 柔らかい視点を持って自分らしい経営を

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校卒業後は土建会社に就職しましたが、実家が兼業農家だったため、昭和51年に祖父のすすめで当時の長洲町農協に入組しました。必然的に農業を手伝うようになっていきましたが、平成元年に父が病にたおれたことで、経営が自分の肩に掛かってきました。

そこで、同じするならと面積の拡大を図っていき、平成15年にはJ A（当時はJ Aおおいた宇佐）を退職し農業に専念、平成16年に有限会社むら豊富を設立しました。現在は15haを経営しています（飼料用米5ha、大豆5ha、水稲5ha、麦14ha）。

現在行っている農業経営の特徴

一人親方なので作業が滞らないよう常に行程を見直しながら創意工夫をしています。

得意先への直接販売や大豆の加工品の開発・販売等を行いながら、付加価値をつけることで利益幅を上げる努力をしています。販売においても創意工夫の努力をしています。

私が応援できること

J Aの営農指導員としても、農家としても技術・経験を積み重ねてきました。

多様な人脈も確保してきましたし、その中でいろいろな情報や考え方も学んできました。

自分なりに知識を持っていると思うので全力で応援します。

大分県指導農業士会

vol.66
R6~R7認定

おの つぎのぶ
小野 次信 さん



(経営概況)

- | | |
|-------------|----------|
| ・営農地（市町村） | 宇佐市 |
| ・栽培品目（経営面積） | ぶどう（55a） |
| ・家族経営 | 妻 |
| ・営農年数 | 57年 |
| ・販路 | J A 共販 |

農業を志す担い手へのメッセージ

品質・出荷時期ともに地域のトップになるために努力する。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

高校在席時から就農準備のため、ぶどうの植栽を開始（デラウェアなど）。この頃はぶどうは栽培方法も確立されていない高級果実で、高校生が安心院町のぶどう栽培の先駆けとなったことが新聞などにも紹介されました。昭和46年には梨栽培も始めましたが平成3年の台風19号などで2年連続収穫皆無となったことを機に主力をぶどうに集中。平成2年にピオーネを導入し平成6年に品種をピオーネに統一。平成26年にはシャインマスカットを導入して今はシャインマスカットのみを栽培しています。先んじて優良品種を取り入れ収益性の高い品種を栽培することを経営の柱にしています。

現在行っている農業経営の特徴

お客様ニーズより収益性を重視し、収益性の高いシャインマスカットのみ作付けています。そうすることで面積を減じても収益は年々向上しています。

また、どんな作物も土づくりが基本と考え、堆肥を入れ、トラクターで鋤く、敷き草で雑草を抑制するなどし、ふかふかの土でぶどうを栽培しています。

私が応援できること

収益を上げるためには作業の能率をいつも考えながら仕事をする。同じ作業を一緒にしてみると、かかる時間の差を体感できるのでそれが改善点の気づきにつながります。

アンテナを高く張って情報をつかみ勉強を続けること、人とのつながりを作ってきた経験などをお伝えします。

大分県指導農業士会

vol.67
R6~R7認定

すがはら これのり
菅原 維範 さん

(経営概況)

- | | |
|-------------|---|
| ・営農地（市町村） | 宇佐市 |
| ・栽培品目（経営面積） | （有）フラワーうさ 代表取締役 水稻・麦・WCS・花き じゃがいも（130ha） |
| ・従業員数 | 正規雇用7名 パート4名 |
| ・営農年数 | 60年 |
| ・販路 | 契約・直販・市場・ JA共販など |



農業を志す担い手へのメッセージ

「これで良い」と思わず、絶えず努力！死ぬまで努力！

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

農業実践大卒業後、国営パイロット事業の農地にブドウ60aで就農。台風による被害が続いたためぶどうをやめ、親の水田を手伝ったが、自分で稼ぎたいと、28歳頃に宇佐重機を興した。

オイルショックで土建業だけでは厳しくなると見込み、認定農業者制度の制定を機に認定を受け、花苗用ハウスを建て農業に本格参入。4年で39aまで増反した。

集落の大規模ほ場整備完了や麦・大豆への有利な転作政策が打ち出されたのを機に平成12年から大豆を50haまで拡大。以降は施策の転換に合わせてWCSやじゃがいもなどを組み合わせながら経営を拡大している。

現在行っている農業経営の特徴

花・野菜苗、じゃがいも、水田作などを組み合わせることで、一年間を通じていつも収入が入る体制を構築しています。何を栽培するかは常に時流を読んで即時変更しています。

労力はピーク時の8割を雇用でまかない、不足する時に農作業派遣を活用することで無駄なく運用できる体制を作っています。

私が応援できること

農業は、概ね10年ごとに潮目が変わります。「経営者」として、情報をどのくらい仕入れきるか、時流を見極める目を養うことが大事です。

バイヤーとの付き合いや全国の農業者との付き合いなどから学べることは多岐にわたります。私のこれまでの経験はすべてお話しします。

大分県指導農業士会

vol.68
R6~R7認定

ながはま みゆき
長浜 美由紀 さん

(経営概況)

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| ・営農地（市町村） | 宇佐市 |
| ・栽培品目（経営面積） | （株）ニシマキ代表取締役 小ねぎ、米、麦等（10ha） |
| ・従業員数 | パート5名 |
| ・営農年数 | 18年 |
| ・販路 | 市場、加工向け直売など |



農業を志す担い手へのメッセージ

技術・考えなどを色々学び、農業を魅力あるものにしてください。

就農のきっかけから現在の経営に至るまで

就農のきっかけは、子供が小さいことで就職先が見つからず、親の手伝いで仕事を始めたのがきっかけでした。

最初はパートみたいなもので、父も子供が大きくなったら辞めるだろうと思っていたようなので、作業しかしていませんでしたが、思いの外続いていたので、3年ほど経ったところで、徐々に経理の仕事や経営などを教えてもらえるようになりました。いずれは後を継ぐのかなあと考えていた矢先、ある日突然、「代表代わったから」と言われ、考える間もなく4年前から代表に。

現在行っている農業経営の特徴

小ねぎは市場への出荷が主ですが、選別調製経費の削減ができ、価格が安定している加工向けの出荷を増やしています。あわせて危険分散のために白ねぎなどほかの作物も模索しています。

水田作は条件不利地ながら、冬作も麦を、品種を工夫しながら全面作付するなど有効に利用しています。

私が応援できること

自分は今でも、他の農家さんに飛び込みで相談に行ったり、話を聞いたりしています。品目が違う農家さんとでも、話をすることで経営のヒントをもらうことがあります。

いろいろな人と話をしてください。自分が知っていることは教えることができるので、意見交換しながらお互いに勉強していけるといいなと思います。

大分県指導農業士制度について

- 次代の農業を担う優れた農業後継者の育成確保を図るためには、地域農業の指導的立場にある農業者の理解と指導援助が極めて重要であることから、現に優れた農業経営を行い、その農業経営や人生体験を通じて青年農業者等の育成に指導的立場にある農業者を「大分県指導農業士」として認定し、その活動を担ってもらう制度です。

指導農業士の条件*

- (1) 農業技術、経営等が優れており、地域の推進品目の生産拡大または、地域農業の振興に指導的役割を果たしている者
- (2) 青年農業者等の育成指導に理解があり、かつ積極的な活動が出来る能力を有する者
- (3) 青年農業者等の研修の受入れ及び指導が可能な者
- (4) 農業技術や経営、育成指導能力等の向上のため、自己研鑽に励む者
- (5) 概ね10年以上の自営経験を持ち、かつ概ね41歳以上65歳未満の認定農業者及びその配偶者や後継者、又は同法人の代表者及び役員
- (6) 概ね6年以上の自営経験を持ち、かつ概ね35歳以上40歳以下の認定農業者及びその配偶者
- (7) 市町村長が特に認定を望む者

※(1)から(4)を全て満たし、かつ(5)から(7)のいずれかを満たす者

- 任期は1期2年で、認定にあたっては、認定候補者として、本人同意のうえ市町村長の推薦が必要です。

●指導農業士の主な活動内容

① 青年農業者の育成

- ・青年農業者に対する技術、経営相談及び指導
- ・青年農業者の資質向上
(研修会講師、プロジェクト活動の支援等)
- ・青年組織活動に対する指導助言
(プロジェクト実績発表大会における審査等)



② 新規就農者の確保・育成

- ・就農学校、ファーマーズスクール等の運営に対する支援
(指導補助や就農コーチへの就任、就農に係る支援等)
- ・新規就農者への指導助言
(技術や経営等の個別相談、地域融和等に対する支援等)
- ・就農希望者視察等の受け入れ
(新規就農者サポート体制(経営・技術)への協力(メンターとしての役割))



③ 農業教育への支援

- ・県立農業大学校の教育支援
(先進農家研修の受け入れ、経営講座の講師、外部評価委員等)
- ・農業体験学習等への支援

詳しくはこちらをご覧ください⇒

(大分県庁ホームページ 大分県指導農業士制度について)



| 氏名 | 体験・研修等が可能な 品目・作業 | 講師対応 | | | | 視察・見学の 受入 | 相談対応 | | | 体験学習の 受入 | | | | | | | | | 技 71 |
|--------|--|------|--|------|----|--------------|------|------------|------|-------------|-----|-----|-----|---------------|-------|------|----|---|---------|
| | | 基調講演 | ハ ル テ ィ ス カ ッ シ ョ ン | 事例発表 | 授業 | | 就農 | 栽培等 の技術 | 農業経営 | 園児 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 大学生・ 専門学校生 | 福祉事業所 | 支援学校 | 一般 | | |
| 星野 賢一 | かぼす：収穫等 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 宇留嶋 雄蔵 | 水稻・野菜・林業：全般 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | |
| 河野 秀徳 | いちご：管理作業 | × | × | × | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 田畑 修一 | 酪農：全般 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 長友 礼子 | ハウスみかん：ハウス張り、枝吊り 等 スナップエンドウ：マルチ張り、片付け なす：マルチ張り、袋詰め | × | × | × | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 野田 由紀 | たばこ：作業全般 | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 上原 隆生 | 水耕ネギ：作業全般 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 河野 一 | 肥育牛：餌やり、肥育舎の清掃 | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 土谷 元尚 | 小ねぎ：栽培全般 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 布袋 良信 | 小ねぎ：栽培全般 視察：市場・産地 | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 片岡 和彦 | 潮トマト：全般 シャインマスカット：全般 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 油井 克己 | いちご：栽培全般 ピーマン：栽培全般 直販野菜：栽培全般 | × | × | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 池永 勝己 | きゅうり：栽培全般 トマト：栽培全般 水稻：栽培全般 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 甲斐 武範 | 大葉：栽培全般 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 後藤 聖憲 | かんしょ：収穫、梱包作業 他 | △ | ○ | ○ | △ | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | |
| 小橋 秀範 | ピーマン：収穫、出荷 他 | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | |
| 竹尾 徳隆 | いちご：収穫、パック詰め 等 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | ○ | ○ | △ | △ | |
| 江藤 国子 | 野菜全般：作業全般 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 衛藤 将明 | アスパラガス：作業全般 | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 大津 敬美 | いちご：作業全般 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 工藤 貴幸 | 肉用牛：全般（要相談） | × | × | × | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 中野 恭次 | 柑橘：全般 | × | × | × | ○ | △ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 市川 幸子 | スイートピー：栽培管理 ホオズキ：栽培管理 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 黒岩 浩二 | いちご：通常の管理 水稻：通常の管理 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 黒岩 真由美 | トルコギキョウ：定植、草取り フラワーアレンジメント | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 曾我部 勇太 | ハウスみかん：見学 露地みかん：時期の作業 | △ | △ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | ○ | |
| 戸高 拓志 | キク | × | × | × | × | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 波戸崎 孝 | アスパラガス：収穫、調整 ニラ：収穫、調整 | × | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 山田 定男 | 水稻 アスパラガス：収穫～出荷 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 植木 美和 | 肉用牛：飼養管理 | × | × | △ | △ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | |

大分県指導農業士 問い合わせ窓口 一覧

| | | | | |
|-----------------|----------|----------|-------------|--------------|
| 東部地区 | 大分県東部振興局 | 生産流通部 | 営農推進班 | 0978-72-1141 |
| | 別府市 | 農林水産課 | 農政係 | 0977-21-1133 |
| | 杵築市 | 農林水産課 | 農政企画係 | 0978-62-1809 |
| | 国東市 | 農政課 | 農政係 | 0978-72-5167 |
| | 日出町 | 農林水産課 | 農業振興係 | 0977-73-3127 |
| 中部地区 | 大分県中部振興局 | 生産流通部 | 営農推進班 | 097-506-5796 |
| | 大分市 | 農政課 | 担い手育成担当班 | 097-537-5628 |
| | 臼杵市 | 農林振興課 | 農業振興グループ | 0974-32-2220 |
| | 津久見市 | 農林水産課 | 振興班 | 0972-82-9514 |
| | 由布市 | 農政課 | 企画振興係 | 097-582-1293 |
| 南部 | 大分県南部振興局 | 生産流通部 | 営農・畑地化・畜産班 | 0972-22-1195 |
| | 佐伯市 | 農政課 | 園芸振興係 | 0972-22-3239 |
| 豊肥地区 | 大分県豊肥振興局 | 生産流通部 | 営農推進班 | 0974-63-3177 |
| | 竹田市 | 農政課 | 営農係 | 0974-63-4805 |
| | 豊後大野市 | 農業振興課 | 担い手支援係 | 0974-22-1054 |
| 西部地区 | 大分県西部振興局 | 生産流通部 | 営農推進班 | 0973-23-2217 |
| | 日田市 | 農業振興課 | 政策・担い手支援係 | 0973-22-8211 |
| | 九重町 | 農林課 | 農業振興グループ | 0973-76-3804 |
| | 玖珠町 | 農林課 | 農政班 | 0973-72-7164 |
| 北部地区 | 大分県北部振興局 | 生産流通部 | 営農推進班 | 0978-32-1555 |
| | 中津市 | 農政課 | 農業振興係 | 0979-62-9047 |
| | 豊後高田市 | 農業振興課 | 農業振興係 | 0978-25-6243 |
| | 宇佐市 | 農政課 | 農政係 | 0978-27-8155 |
| (大分県指導農業士会・事務局) | | 大分県農林水産部 | 新規就業・経営体支援課 | 097-506-3598 |



大分県指導農業士からのメッセージ

令和7年1月 発行

著 者 大分県指導農業士会
(事務局)

大分県農林水産部新規就業・経営体支援課

〒870-8501 大分市大手町 3-1-1

TEL (097)-506-3598

E-mail a15270@pref.oita.lg.jp
